

予算科目	2 款	総務費	事業名		市政功労者表彰																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 章																										
	1 目	一般管理費		第 節																										
	事業	功労者表彰・礼遇者関係費		()																										
担当部課	総務部秘書広報課	実施計画掲載ページ																												
目的及び事業内容	<p>市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催 																													
取組実績	<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、105名・5団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、87名・5団体の市政功労者を決定した。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：令和4年11月6日（日）午後3時から 場 所：マルホンまきあーとテラス 大ホール 出席者数：個人42名・5団体6名</p> <p>(2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																													
成 果	<p>市政のために尽力された方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度別取組実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>83名</td> <td>129名</td> <td>120名</td> <td>81名</td> <td>110名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>74名</td> <td>110名</td> <td>104名</td> <td>65名</td> <td>92名</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>39名</td> <td>60名</td> <td>46名</td> <td>38名</td> <td>48名</td> </tr> </tbody> </table>						年度別取組実績	H30	R1	R2	R3	R4	市政功労者推薦者数	83名	129名	120名	81名	110名	市政功労者決定者数	74名	110名	104名	65名	92名	表彰式出席者数	39名	60名	46名	38名	48名
年度別取組実績	H30	R1	R2	R3	R4																									
市政功労者推薦者数	83名	129名	120名	81名	110名																									
市政功労者決定者数	74名	110名	104名	65名	92名																									
表彰式出席者数	39名	60名	46名	38名	48名																									
成果に係る評価	<p>受賞者に対し、その功績を讃えることにより、市政の振興と市政への参加意識の高揚が期待できることから、今後も継続して実施する必要がある。 候補者の推薦にあたっては、受賞分野の固定化がみられることから、広く掘り起こしを図るため、引き続き市報やホームページでの周知、庁内各課への通知をしていく必要がある。</p>																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	566,000	347,315				347,315																								

予算科目	2 款	総務費	事業名		広聴事業																																						
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																						
	1 目	一般管理費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																						
	事業	広聴事業関係費		(1)	多様な市民ニーズの把握に努める																																						
担当部課	総務部秘書広報課	実施計画掲載ページ		P 105																																							
目的及び事業内容		市民からの意見・提案等を市政に反映するため、市政提案、陳情・要望及び苦情の受け付け、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会、動く市長室、市民意識調査等の広聴事業を実施し、市民と一体となったまちづくりを進める。																																									
取組実績		<p>広聴事業を以下のとおり実施した。</p> <p>1 市政提案、陳情・要望、苦情</p> <p>2 パブリックコメント・・・6件の計画に対する意見募集</p> <p>3 まちづくり懇談会・・・2回実施</p> <p>4 動く市長室・意見交換会・市長室開放デー・・・12回実施</p> <p>5 市民意識調査・・・無作為抽出した2,700人へ調査を実施</p> <p>調査内容 (1) 広報事業 (2) 消防団 (3) 市政への関心 (4) SDGs (5) 石巻市での居住</p> <p>(6) 男女共同参画社会 (7) 町内会・自治会活動への参加 (8) スポーツ</p> <p>(9) 環境 (10) 地域福祉 (11) 子どもの居場所づくり (12) 子どもの権利</p> <p>(13) 中心市街地活性化 (14) 石巻市のまちづくり (15) 図書館の開館時間</p> <p>※ 市政教室は新型コロナウイルス感染症感染防止のため未実施。</p>																																									
成果		<p>市民からの市政提案、陳情・要望及び苦情については、市の窓口として取りまとめを行い、関係各課と情報共有を図り、市の考え方や対応方法を担当課または市長から市民へ伝えたことにより、市民が市政をより身近なものに感じ、また、市政への関心を高めることができた。</p> <p>まちづくり懇談会、動く市長室、意見交換会、市長室開放デーについては、市民から直接意見や要望を聴くことができた。</p> <p>市民意識調査については、回答を分析し、今後の市政運営の指標として反映することができた。</p> <p>●市政提案 ●陳情・要望 ●苦情 ●パブリックコメント</p> <table border="1"> <tr> <th>件数</th> <th>件数</th> <th>件数</th> <th>計画</th> <th>意見件数</th> </tr> <tr> <td>75件</td> <td>41件</td> <td>140件</td> <td>6件</td> <td>6件</td> </tr> </table> <p>●市民意識調査</p> <table border="1"> <tr> <th>調査</th> <th>調査対象者</th> <th>回収数</th> <th>回収率</th> </tr> <tr> <td>15項目</td> <td>2,700人</td> <td>1,037件</td> <td>38.4%</td> </tr> </table> <p>●市民等との懇談会参加者数（活動指標）</p> <table border="1"> <tr> <th>R4目標値</th> <th>R4実績</th> <th>懇談会</th> <th>動く市長室</th> <th>意見交換会</th> <th>市長室</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>150人</td> <td>304人</td> <td>33人</td> <td>150人</td> <td>106人</td> <td>15人</td> <td>202.7%</td> </tr> </table> <p>●市民等との懇談会参加者の市政への関心度（成果指標）</p> <table border="1"> <tr> <th>R4目標値</th> <th>R4実績</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>75.0%</td> <td>90.5%</td> <td>120.7%</td> </tr> </table>				件数	件数	件数	計画	意見件数	75件	41件	140件	6件	6件	調査	調査対象者	回収数	回収率	15項目	2,700人	1,037件	38.4%	R4目標値	R4実績	懇談会	動く市長室	意見交換会	市長室	達成率	150人	304人	33人	150人	106人	15人	202.7%	R4目標値	R4実績	達成率	75.0%	90.5%	120.7%
件数	件数	件数	計画	意見件数																																							
75件	41件	140件	6件	6件																																							
調査	調査対象者	回収数	回収率																																								
15項目	2,700人	1,037件	38.4%																																								
R4目標値	R4実績	懇談会	動く市長室	意見交換会	市長室	達成率																																					
150人	304人	33人	150人	106人	15人	202.7%																																					
R4目標値	R4実績	達成率																																									
75.0%	90.5%	120.7%																																									
成果に係る評価		<p>令和4年度は、総合支所や網地島での動く市長室開催、支所や田代島での市長との意見交換会を開催したほか、市長室開放デーも再開し、市民から直接意見や提案ができる場を創出することができた。</p> <p>広聴事業の実施により、市民が市政をより身近に感じることができたほか、意見交換で出された課題については関係課と連携し、解決に向けて取り組むことにより市民サービスの向上が図られており、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>また、市民意識調査については回収率が低いことから、調査内容の整理と回答方法の検討を行う必要がある。</p>																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
	2,077,000	2,016,380	国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																						
					2,016,380																																						

予算科目	2 款	総務費	事業名		情報公開・個人情報保護事業																																																												
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																																												
	1 目	一般管理費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																																												
	事業	情報公開推進費		(3)	情報公開等による透明性の確保を推進する																																																												
担当部課	総務部総務課	実施計画掲載ページ																																																															
目的及び事業内容		<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p> <p>3 審査会 開示決定等に対し審査請求があった場合は、第三者機関である審査会が公平な立場から調査審議し、開示請求者の権利救済を図るとともに、情報公開・個人情報保護制度の運用に関する重要事項について調査審議し、制度の充実・改善を図る。</p>																																																															
取組実績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">開示請求件数</th> <th colspan="6">請求に対する決定等</th> </tr> <tr> <th>開示</th> <th>一部開示</th> <th>不開示</th> <th>不存在</th> <th>その他</th> <th>取下</th> </tr> <tr> <td>情報公開</td> <td>115件</td> <td>46件</td> <td>63件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>27件</td> <td>10件</td> <td>13件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>2 審査請求の状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">審査請求件数</th> <th rowspan="2">取下</th> <th rowspan="2">諮問</th> <th rowspan="2">答申</th> <th colspan="4">審査請求に対する決定</th> <th rowspan="2">次年度繰越し</th> </tr> <tr> <th>認容</th> <th>一部認容</th> <th>棄却</th> <th>却下</th> </tr> <tr> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況</p> <p>令和4年度においては、審査請求等の諮問案件に係る会議のほか、個人情報保護法の改正に伴う本市個人情報保護制度についての意見を聴くために計4回開催した。</p> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">利用件数</th> <th colspan="3">利用件数の内訳</th> </tr> <tr> <th colspan="2">行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）</th> <th>その他相談等</th> </tr> <tr> <td>1,269件</td> <td>1,217件</td> <td>(604件)</td> <td>52件</td> </tr> </table>				開示請求件数	請求に対する決定等						開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下	情報公開	115件	46件	63件	1件	3件	1件	個人情報	27件	10件	13件	0件	4件	0件	審査請求件数	取下	諮問	答申	審査請求に対する決定				次年度繰越し	認容	一部認容	棄却	却下	1件	0件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）		その他相談等	1,269件	1,217件	(604件)	52件
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																
	開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下																																																											
情報公開	115件	46件	63件	1件	3件	1件																																																											
個人情報	27件	10件	13件	0件	4件	0件																																																											
審査請求件数	取下	諮問	答申	審査請求に対する決定				次年度繰越し																																																									
				認容	一部認容	棄却	却下																																																										
1件	0件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件																																																									
利用件数	利用件数の内訳																																																																
	行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）		その他相談等																																																														
1,269件	1,217件	(604件)	52件																																																														
成果		<p>1 情報公開</p> <p>公文書の開示については、迅速かつ適切に行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は115件で前年度と同程度であり、開示決定に係る所要日数は10.2日程度（決定期限を延長した9件を除いた所要日数は7.9日程度）で条例で定める期限（開示請求のあった日の翌日から起算して14日以内）の範囲内となっている。</p> <p>また、情報公開コーナーの利用状況は、全体で1,269件（行政資料等の閲覧が1,217件、その他相談等が52件）あり、前年度から約260件程度増加したが、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護</p> <p>個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。自己情報を求める権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護し、より適切な個人情報保護制度の運用を図ることができた。また、「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布に伴い、本市個人情報保護条例を廃止し、新たに「石巻市個人情報の保護に関する法律施行条例」を制定し、適切な個人情報保護制度の体制を構築した。</p>																																																															
成果に係る評価		<p>情報公開の推進については、公文書開示請求において、情報公開条例や判例等を踏まえながら、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較検討し、統一的な判断基準に基づき、迅速かつ適切な情報公開事務に努めることができた。今後も、市民に必要な情報を公正かつ正確に伝え、市民と行政との信頼関係を深めていく。</p> <p>個人情報の取扱いについては、「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布に伴い、デジタル社会の形成に向けた所要の整備を行った。令和5年度から、個人情報の取扱いについては「個人情報の保護に関する法律」に基づいた取扱いが求められることから、今後も個人の権利利益が侵害されることのないよう、同法を遵守し、適正な管理運営に努めていく。</p>																																																															
(単位：円)																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
	3,586,000	3,406,407	国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																																												
					72,330 3,334,077																																																												

予算科目	2 款	総務費	事業名		広報事業												
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち												
	2 目	文書広報費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進												
	事業	広報活動費		(2)	市民の関心を高める情報発信を推進する												
担当部課	総務部秘書広報課	実施計画掲載ページ		P 106													
目的及び事業内容		市の現状や施策等各種情報を広く市民へ周知し、市民の市政への理解と関心を高めるため、市報、定例記者会見、ホームページ、SNS等を活用して情報発信する。															
取組実績		<p>広報事業を以下のとおり実施した。</p> <p>1 「市報いしのまき」発行 (1) 発行：12回（毎月1日発行） (2) 部数：月62,000部 (3) 紙面：全16ページ (4) 配布：全戸配布 (5) 主な内容 ・市の財政状況 ・各種イベント情報 ・各種行政情報 ・施政方針 ・まちの話題 ・休日等救急当番医 ・子育て支援情報 ・各種検診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集</p> <p>2 定例記者会見開催・・・12回開催 3 ホームページ掲載・・・適宜掲載 4 フェイスブック及びツイッターでの情報発信・・・各71件発信</p>															
成果		<p>広報事業を実施することにより、市民に対し適切に行政情報を提供することができた。市報については、記事の掲載レイアウトの変更や文字を大きくするなどの工夫を行い、見やすさや分かりやすさを向上させ、市民に伝わる紙面づくりに取り組んだ。ホームページについては、イベントカレンダーの表示方法の一部修正等を行うなど、より見やすくなるための改善を行った。</p> <p>●ホームページアクセス件数（活動指標）</p> <table border="1"> <tr> <td>R4目標値</td> <td>R4実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>9,425,000件</td> <td>8,484,565件</td> <td>90.0%</td> </tr> </table> <p>●ホームページの見やすさ（成果指標）</p> <table border="1"> <tr> <td>R4目標値</td> <td>R4実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>60.0%</td> <td>63.6%</td> <td>106.0%</td> </tr> </table>				R4目標値	R4実績	達成率	9,425,000件	8,484,565件	90.0%	R4目標値	R4実績	達成率	60.0%	63.6%	106.0%
R4目標値	R4実績	達成率															
9,425,000件	8,484,565件	90.0%															
R4目標値	R4実績	達成率															
60.0%	63.6%	106.0%															
成果に係る評価		市報、定例記者会見、ホームページ、SNS等を積極的に活用し、市政に更に興味・関心を持ってもらえるよう魅力ある内容で情報発信に努め、さらなる広報事業の充実を図る。															
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	36,661,000	36,230,478	32,000	4,253,700	31,944,778												

予算科目	2 款	総務費	事業名		定住自立圏共生ビジョン策定事業															
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち															
	6 目	企画費		第 2 節	持続可能な行政運営の推進															
	事業	総合計画等関係費		(6)	広域連携体制を強化する															
担当部課	復興企画部政策企画課	実施計画掲載ページ		P 109																
目的及び事業内容		定住に必要な都市機能と生活機能を確保するとともに、自立に必要な経済基盤等を培うことなどにより、圏域全体の魅力の向上と活性化を図り、人口減少を食い止め、持続可能な圏域社会を構築していく定住自立圏構想を推進するため、石巻圏域定住自立圏共生ビジョンを策定する。																		
取組実績		<p>1 石巻圏域定住自立圏共生ビジョン策定までの経過</p> <p>(1) 石巻圏域定住自立圏構想中心市宣言の変更（令和4年6月） (2) 石巻圏域定住自立圏形成変更協定の締結（令和4年7月） (3) 第1回石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会（令和4年7月） 内容：石巻圏域定住自立圏共生ビジョン（案）について (4) 第2回石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会（令和4年7月） 内容：石巻圏域定住自立圏共生ビジョン（案）に対する意見への対応について (5) パブリックコメントの実施（令和4年9月） (6) 石巻圏域定住自立圏共生ビジョン策定・公表（令和4年10月）</p>																		
成果		<p>民間や地域の関係者で構成する石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会での意見等も踏まえ、石巻圏域定住自立圏共生ビジョンを策定した。</p> <p>1 定住自立圏の名称 石巻圏域定住自立圏 2 石巻圏域を形成する市町（構成市町）の名称 石巻市、東松島市、女川町 3 石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの期間 令和4年度から令和8年度までの5年間 4 定住自立圏の将来像 住民が住むことに誇りを持ち、持続・発展する石巻圏域定住自立圏の形成 5 定住自立圏形成に向けた具体的な取組</p> <p style="text-align: right;">（単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>政策分野</th> <th>連携項目数</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 生活機能の強化</td> <td>21</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>II 結び付きやネットワークの強化</td> <td>7</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>III 圏域マネジメント能力の強化</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table>				政策分野	連携項目数	事業数	I 生活機能の強化	21	51	II 結び付きやネットワークの強化	7	16	III 圏域マネジメント能力の強化	4	9	計	32	76
政策分野	連携項目数	事業数																		
I 生活機能の強化	21	51																		
II 結び付きやネットワークの強化	7	16																		
III 圏域マネジメント能力の強化	4	9																		
計	32	76																		
成果に係る評価		石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの策定により、圏域市町の連携強化が図られたほか、ビジョンに基づき実施される事業について、地方交付税措置による財源を確保することができた。今後は、石巻圏域定住自立圏共生ビジョンに掲げた連携項目と具体的に取り組む事業の進捗管理を行うとともに、石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会での意見等も踏まえた必要な見直しを行い、将来像「住民が住むことに誇りを持ち、持続・発展する石巻圏域定住自立圏の形成」を目指す。																		
（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	355,000	261,061			261,061															

予算科目	2 款	総務費	事業名		がんばる石巻応援寄附事業																																											
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																											
	6 目	企画費		第 2 節	持続可能な行政運営の推進																																											
	事業	がんばる石巻応援寄附関係費		(4)	自主財源の安定的確保を図る																																											
担当部課	復興企画部ふるさと納税推進課	実施計画掲載ページ		P 108																																												
目的及び事業内容		各種事業の財源確保のほか、お礼の地場産品を送付することで本市の魅力を伝えるとともに、市内事業者の販路拡大及び地域経済の活性化を図る。																																														
取組実績		<p>1 寄附の受付 主要5ポータルサイト及び申込用紙により寄附を募集し、寄附額を伸ばした。 申込割合：ふるさとチョイス16.4%、楽天ふるさと納税43.1%、さとふる29.2%、ふるなび7.4%、ANAのふるさと納税2.2%、申込用紙1.7%</p> <p>2 返礼品の登録 新規返礼品数を156品追加、全体で420品となり、昨年度比1.6倍と大きく拡充できた。</p> <p>3 災害支援寄附の受付・クラウドファンディングを実施し、被災者等へ支援できた。 (1) 令和4年福島県沖地震災害支援 R4年3月17日～R5年3月31日 計3,199,900円 (2) ウクライナ人道危機支援 R4年5月16日～R5年3月31日 計3,276,278円</p> <p>4 広報の実施 (1) 各ポータルサイトの特集への掲載 (2) 雑誌への記事掲載 「ふるさと納税ニッポン！」2022夏秋号 (3) ふるさとチョイス大感謝祭への出展 本市ブースへの来場者数 約1,500人</p>																																														
成果		<p>1 寄附受入実績 多くの方に寄附いただき、件数・金額ともに過去最高となり、約8億円となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>15,589件</td> <td>25,932件</td> <td>27,192件</td> <td>42,978件</td> <td>69,950件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>253,931,245円</td> <td>354,718,283円</td> <td>357,365,754円</td> <td>532,335,930円</td> <td>799,288,949円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 寄附充当事業 「がんばる石巻応援寄附」は、一度基金として積み立てた後、本市の各種事業に充当している。R4年度実施事業では、寄附額524,672,612円を充当した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>充当額</th> <th>充当割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働の推進</td> <td>63,109千円</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>教育の充実</td> <td>71,601千円</td> <td>13.6%</td> </tr> <tr> <td>産業振興</td> <td>277,988千円</td> <td>53.0%</td> </tr> <tr> <td>保健福祉の充実</td> <td>35,010千円</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>環境保全や文化の振興</td> <td>35,500千円</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>道路・住宅・公共交通の整備</td> <td>41,465千円</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>524,673千円</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H30	R1	R2	R3	R4	寄附件数	15,589件	25,932件	27,192件	42,978件	69,950件	寄附金額	253,931,245円	354,718,283円	357,365,754円	532,335,930円	799,288,949円	事業区分	充当額	充当割合	市民協働の推進	63,109千円	12.0%	教育の充実	71,601千円	13.6%	産業振興	277,988千円	53.0%	保健福祉の充実	35,010千円	6.7%	環境保全や文化の振興	35,500千円	6.8%	道路・住宅・公共交通の整備	41,465千円	7.9%	計	524,673千円	100.0%
年度	H30	R1	R2	R3	R4																																											
寄附件数	15,589件	25,932件	27,192件	42,978件	69,950件																																											
寄附金額	253,931,245円	354,718,283円	357,365,754円	532,335,930円	799,288,949円																																											
事業区分	充当額	充当割合																																														
市民協働の推進	63,109千円	12.0%																																														
教育の充実	71,601千円	13.6%																																														
産業振興	277,988千円	53.0%																																														
保健福祉の充実	35,010千円	6.7%																																														
環境保全や文化の振興	35,500千円	6.8%																																														
道路・住宅・公共交通の整備	41,465千円	7.9%																																														
計	524,673千円	100.0%																																														
成果に係る評価		本市の返礼品の魅力が最大限伝わるよう改善するとともに、新規返礼品を追加しバリエーションを増やしたほか、各ポータルサイトでのPRやメディアで本市の返礼品を紹介された効果もあり、前年度と比較し、寄附額を1.5倍の約8億円とすることができた。「がんばる石巻応援寄附」は、本市の各種事業実施のために欠かせない財源となっているが、これまで以上に市場ニーズを把握し、魅力ある返礼品の開発や、情報発信を強化し、全国の方々に広くPRすることで地域の活性化につなげるとともに、今後も更なる寄附額の増加を目指していく。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	557,750,000	499,479,700			229,090,163	270,389,537																																										

予算科目	2 款	総務費	事業名		SDGs推進事業〔地方創生〕																					
	1 項	総務管理費	総合計画	第 2 章	未来都市の実現 ※第4編 地方創生の取組																					
	6 目	企画費		第 1 節	コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる																					
	事業	SDGs推進関係費		(2)	地域コミュニティによる支え合いを推進する																					
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課	実施計画掲載ページ																								
目的及び事業内容		<p>経済・社会・環境の三側面を統合的に取り組み、地方創生の実現に資する持続可能なまちづくりを目指すというSDGsの考えを原動力として、将来にわたって活力ある地域社会の実現を目指す。</p> <p>1 SDGs普及啓発事業 2 グリーンスローモビリティ活用事業</p>																								
取組実績		<p>石巻市SDGs未来都市計画に基づき、SDGsの普及啓発やSDGs達成に資する先進的、かつ、経済、社会、環境の三側面をつなぐ統合的な取組を実施した。</p> <p>1 SDGs普及啓発事業 (1) 職員研修の実施…9回開催し、職員362名が受講。3か年で職員1,250名への基礎研修が完了した。 (2) 「いしのまきSDGsパートナー制度」の拡大…334件の企業・団体が新規登録した。累計452件 (3) SDGs学習アプリ…子ども向けの学習アプリとして、SDGsクイズのヒントをアップデートした。令和4年度末アプリ閲覧数2,700回 (4) SDGsフェス…イオンモール石巻との共催イベントを6日間開催。期間：9/16(金)～9/21(水) (5) いしのまき圏域SDGsシンポジウム開催…河北総合センタービッグバンを会場に来場者230名、動画配信にて21,000回以上の視聴があった。</p> <p>2 グリーンスローモビリティ活用事業 (1) グリーンスローモビリティ…蛇田のぞみ野地区において、令和4年度延べ利用者数277名。 (2) コミュニケーションロボットATOM…新たな活用方法を模索しながら高齢者世帯に配置した。 (3) ハイブリッドリユース…車両登録手続等に係る支援・助言・指導を地元事業者あて実施した。</p>																								
成果		<p>1 SDGs普及啓発事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R4実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員研修</td> <td>職員への基礎研修が完了し、SDGsの基本的な考え方を習得した。</td> </tr> <tr> <td>いしのまきSDGsパートナー制度</td> <td>様々な業種の団体が登録しHPで取組を発信したほか、パートナー向けセミナーも開催したことで、多方面へのSDGs普及啓発に繋がった。</td> </tr> <tr> <td>SDGs学習アプリ</td> <td>コンテンツをアップデートし、より分かりやすく学習できる環境を整えたことで、利用者はSDGsに関する知識を深めることができた。</td> </tr> <tr> <td>SDGsフェス</td> <td>小学校の取組発表や年長児のSDGsぬり絵展示、親子向けワークショップを開催し、幅広い年齢層へのSDGs普及啓発に繋がった。</td> </tr> <tr> <td>いしのまき圏域SDGsシンポジウム</td> <td>「教育」をテーマに開催。圏域内の各小中高等学校長にも参加いただき、教育現場へSDGsの理念の浸透を図ることができた。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 グリーンスローモビリティ活用事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R4実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グリーンスローモビリティ</td> <td>引き続き蛇田のぞみ野地区で運用し、高齢者の外出機会の一助となった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションロボットATOM</td> <td>地域交通情報アプリケーションとして本来の目的での活用ができなかったものの、高齢者の孤独感解消に資する形で活用できた。</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッドリユース</td> <td>地元事業者4社が参加し、車両登録手続等に係るノウハウを学んだ。</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R4実績	職員研修	職員への基礎研修が完了し、SDGsの基本的な考え方を習得した。	いしのまきSDGsパートナー制度	様々な業種の団体が登録しHPで取組を発信したほか、パートナー向けセミナーも開催したことで、多方面へのSDGs普及啓発に繋がった。	SDGs学習アプリ	コンテンツをアップデートし、より分かりやすく学習できる環境を整えたことで、利用者はSDGsに関する知識を深めることができた。	SDGsフェス	小学校の取組発表や年長児のSDGsぬり絵展示、親子向けワークショップを開催し、幅広い年齢層へのSDGs普及啓発に繋がった。	いしのまき圏域SDGsシンポジウム	「教育」をテーマに開催。圏域内の各小中高等学校長にも参加いただき、教育現場へSDGsの理念の浸透を図ることができた。	区分	R4実績	グリーンスローモビリティ	引き続き蛇田のぞみ野地区で運用し、高齢者の外出機会の一助となった。	コミュニケーションロボットATOM	地域交通情報アプリケーションとして本来の目的での活用ができなかったものの、高齢者の孤独感解消に資する形で活用できた。	ハイブリッドリユース	地元事業者4社が参加し、車両登録手続等に係るノウハウを学んだ。
区分	R4実績																									
職員研修	職員への基礎研修が完了し、SDGsの基本的な考え方を習得した。																									
いしのまきSDGsパートナー制度	様々な業種の団体が登録しHPで取組を発信したほか、パートナー向けセミナーも開催したことで、多方面へのSDGs普及啓発に繋がった。																									
SDGs学習アプリ	コンテンツをアップデートし、より分かりやすく学習できる環境を整えたことで、利用者はSDGsに関する知識を深めることができた。																									
SDGsフェス	小学校の取組発表や年長児のSDGsぬり絵展示、親子向けワークショップを開催し、幅広い年齢層へのSDGs普及啓発に繋がった。																									
いしのまき圏域SDGsシンポジウム	「教育」をテーマに開催。圏域内の各小中高等学校長にも参加いただき、教育現場へSDGsの理念の浸透を図ることができた。																									
区分	R4実績																									
グリーンスローモビリティ	引き続き蛇田のぞみ野地区で運用し、高齢者の外出機会の一助となった。																									
コミュニケーションロボットATOM	地域交通情報アプリケーションとして本来の目的での活用ができなかったものの、高齢者の孤独感解消に資する形で活用できた。																									
ハイブリッドリユース	地元事業者4社が参加し、車両登録手続等に係るノウハウを学んだ。																									
成果に係る評価		令和3年度の課題であった主婦層へのSDGsの普及啓発として、地元スーパーと連携した取組を実施したほか、親子向けワークショップを実施したことで、令和4年度の市民意識調査によるSDGs認知度は72.4%となり、前年比13.0%増加した。令和5年度については、実際の取組に繋がる普及啓発を行っていく。グリーンスローモビリティ活用事業では、令和3年度に引き続き、地域住民の買物支援等で活用することで、外出機会の創出による孤立防止及びコミュニティ活性化を図った。また、電動カートを6台製作し導入する予定であったが、コロナ禍に加え、バッテリーの認証試験や法改正による騒音試験の追加などの理由により1台のみの導入となった。この1台を地域の新たな移動の足として有効に活用していきたい。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	32,381,000	17,816,217	8,162,915			9,653,302																				

予算科目	2 款	総務費	事業名	震災伝承事業〔復興基金〕																										
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																									
	6 目	企画費		第 6 節	未来につなぐ震災伝承の推進																									
	事業	震災伝承関係費		(1)	震災伝承を推進する																									
担当部課	総務部震災伝承推進室	実施計画掲載ページ		P 22																										
目的及び事業内容	東日本大震災の事象と教訓、復旧・復興への思いを後世に伝えるため、「震災遺構門脇小学校」及び「震災遺構大川小学校」を運営・活用し、震災伝承に関する事業を推進する。																													
取組実績	<p>震災遺構門脇小学校では、定期的な「館内無料ガイド」や「語り部の話を聞く会」の実施のほか、リボン・アート・フェスティバルのパスポート購入者割引（8/20～10/2間で653人入館）や、「3.11追悼イベント夜間特別開館」（1,033人入館）など、関係機関等との連携事業により来訪者の増加を図った結果、令和4年度来訪者数は、38,957人となった。震災遺構大川小学校では、令和5年3月11日に「大川竹あかり」等のイベントがあり、3,888人もの方々が訪れ年間来訪者数は、77,563人となった。</p> <p>また、令和4年度は、震災伝承関係者における顔の見える関係づくりの場を創出するため、令和5年3月25日に「石巻防災・震災伝承のつどい」を開催したところ、18団体総勢160人の参加につながったことから、市内で活動する防災・震災伝承関係団体の連携を深めるとともに、防災・震災伝承の活動について市民に伝えることができた。</p> <p>情報発信については、各種会議やフォーラムに参加し施設のPRを図った。また、遺構施設や伝承活動、伝承関係団体を紹介するホームページを開設し、SNSでの情報発信する基盤を作った。</p>																													
成 果	来訪者の状況																													
	<p>【震災遺構門脇小学校 令和4年4月3日公開開始】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>58,000人</td> <td>38,957人</td> <td>67.17%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【震災遺構大川小学校 令和3年7月18日公開開始】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>45,000人</td> <td>49,245人</td> <td>109.43%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>80,000人</td> <td>77,563人</td> <td>96.95%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	成果指標		達成率	目標値	実績	R4	58,000人	38,957人	67.17%	年度	成果指標		達成率	目標値	実績	R3	45,000人	49,245人	109.43%	R4	80,000人	77,563人
年度	成果指標		達成率																											
	目標値	実績																												
R4	58,000人	38,957人	67.17%																											
年度	成果指標		達成率																											
	目標値	実績																												
R3	45,000人	49,245人	109.43%																											
R4	80,000人	77,563人	96.95%																											
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来訪者数が伸び悩んだが、関係機関等との連携を図り、入館料の割引やイベント等の実施のほか、市内小中学生の来訪者を増やす取り組みとして、指定管理者と連携し、小学校3校、中学校1校にバス料金の補助を行い、来訪者の増加に努めた。</p> <p>また、学校防災担当の教職員等が参加する宮城県教育委員会主催のフォーラムにおいて、震災遺構門脇小学校と震災遺構大川小学校を紹介し、防災学習の場として活用していただけるようPRを行うことで、より多くの方へ防災・震災伝承活動を紹介することができた。</p>																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
予算額	48,400,900	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
		48,154,475			46,685,457	1,469,018																								

予算科目	2 款	総務費	事業名	心の復興事業																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																	
	6 目	企画費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																	
	事業	心の復興事業関係費(東日本大震災関係分)		(2)	地域の均衡ある発展を図る																	
担当部課	復興企画部復興推進課	実施計画掲載ページ		P 12																		
目的及び事業内容	東日本大震災で被災された方が、主体的に参加し、人と人とのつながりや、生きがいをもち、安定的な日常生活を営むことができるよう、支援団体等による心の復興に資する事業の実施に対して補助金を交付し、事業を支援する。																					
取組実績	<p>15団体が地域特性への対応や、課題解決への取組を行った。</p> <p>活動内容として、復興公営住宅に入居する高齢者を対象に、農業体験として野菜作りなどを行うことで、地域の子どもから高齢者まで、多世代が交流できる機会を創りだしたほか、復興公営住宅団地と近隣自治会住民を対象とした交流会や介護予防のワークショップなどを開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付団体数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>18団体</td> <td>30,595千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>15団体</td> <td>25,431千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>14団体</td> <td>23,685千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>15団体</td> <td>20,368千円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	交付団体数	交付額	令和元年度	18団体	30,595千円	令和2年度	15団体	25,431千円	令和3年度	14団体	23,685千円	令和4年度	15団体	20,368千円
年度	交付団体数	交付額																				
令和元年度	18団体	30,595千円																				
令和2年度	15団体	25,431千円																				
令和3年度	14団体	23,685千円																				
令和4年度	15団体	20,368千円																				
成 果	<p>地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動に多くの参加者があり、被災者の心身のケア、孤立防止、心身の健康維持、コミュニティ形成の促進等を図ることができた。</p> <p>また、復興公営住宅集会所でワークショップなどを定期的に開催することで、被災者と近隣自治会住民との地域交流の輪が広がり、孤立を防止する効果などが見られた一方で、新型コロナウイルスの蔓延を危惧し、想定に参加者数に達しない事業もあった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者実人数</th> <th>参加者延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>9,345人</td> <td>19,893人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>7,885人</td> <td>16,359人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>9,775人</td> <td>18,327人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>7,491人</td> <td>17,446人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	参加者実人数	参加者延べ人数	令和元年度	9,345人	19,893人	令和2年度	7,885人	16,359人	令和3年度	9,775人	18,327人	令和4年度	7,491人	17,446人
年度	参加者実人数	参加者延べ人数																				
令和元年度	9,345人	19,893人																				
令和2年度	7,885人	16,359人																				
令和3年度	9,775人	18,327人																				
令和4年度	7,491人	17,446人																				
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルスの影響により、各団体は事業の自粛や規模の縮小等、十分な活動が行えず参加者数は減少となったが、今後も各支援団体等には、被災者の心の復興に資する取組を中長期的に実施していただくために、これまでの活動制限を考慮した継続的な支援が必要である。</p>																					
予算の執行状況	(単位：円)																					
予算額	20,955,000	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
		20,368,000																				

予算科目	2 款	総務費	事業名		テレビ共聴施設改修補助事業	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち	
	6 目	企画費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進	
	事業	テレビ共聴施設整備事業関係費		(4)	市民サービスの利便性の向上を図る	
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P 106		
目的及び事業内容		地上デジタル放送の受信が困難な地域においては、「NHK共聴施設」や「自主共聴施設」によって難視聴を解消しているが、高齢化の進展や若年世代のテレビ放送のネット受信により、共聴施設組合への加入世帯が減少し、1世帯当たりの維持管理費の負担増加も懸念されている。特に近年においては、津波浸水地域や土砂災害警戒区域等の災害対象区域が拡大されており、災害情報の安定した受信環境整備を行う必要があることから、助成による改修費用の負担軽減を図ることで、災害情報等の受信環境整備を促進し、災害に対する情報弱者を発生させない地域づくりを推進する。				
取組実績		地上デジタル放送の受信が困難な地域において、申請のあった共聴組合に対して、石巻市テレビ共聴施設改修事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付した。 【事業実績】 対象団体 : 日向日影テレビ共同受信施設組合 補助事業の内容 : NHK共聴施設の光化改修事業 設置場所 : 石巻市真野 地内 補助決定額 : 2,221,000円(1件)				
成果		高齢化の進展や若年世代のテレビ放送のネット受信により、共聴組合の加入世帯が減少し、1世帯当たりの維持管理費の負担増加が懸念されているなか、補助金を交付することにより、受信施設組合に対する経費面での負担軽減が図られ、安定的な受信環境整備が推進された。				
成果に係る評価		自主共聴組合及びNHK共聴組合に対する補助金を交付することにより、住民の経費面での負担軽減が図られた。また、テレビの受信環境を整備することにより、特にインターネットから情報を享受できない高齢者等について、テレビから災害情報を取得できるようになり、災害に対する情報弱者を発生させない安全安心なまちづくりを推進することができた。				
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,000,000	2,221,000				2,221,000

予算科目	2 款	総務費	事業名		石巻専修大学地域連携助成事業										
	1 項	総務管理費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち										
	7 目	地域振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出										
	事業	地域活性化関係費		(3)	地域資源を活かした産業を強化する										
担当部課	復興企画部政策企画課	実施計画掲載ページ		P 82											
目的及び事業内容		地域の課題及び行政が抱える課題の解決を図り、地域社会の発展と人材の育成及び学術の振興に寄与するため、本市が抱える課題を石巻専修大学に提案し研究を行う「地域連携事業」のほか、石巻専修大学が取り組む「研究プロジェクト事業」及び「社会還元事業」を支援する。													
取組実績		1 令和4年度に報告を受けた研究(令和3年度支援事業) <ol style="list-style-type: none"> 植物系餌料による小型甲殻類増養殖研究 石巻地域原生生物の有用遺伝子探索に向けたPCR解析Ⅱ 持続可能な社会に貢献する次世代パワーデバイスの研究 配電線支持点の絶縁耐力向上による雷事故抑制効果に関する研究 石巻圏内における野生動物のロードキルの現状調査 石巻SDGsモデル事業グリーンスローモビリティ研究【地域連携事業】 金華山沖合の底引き網で漁獲される低利用魚の脂質特性【地域連携事業】 地域特産オリーブを活用したオリーブ銀鮭の開発【地域連携事業】 2 令和4年度に支援した研究 <ol style="list-style-type: none"> 原子力災害にかかる危機管理教育と避難計画の周知【地域連携事業】 地方創生RPGアプリを活用した郷土理解と地域振興の可能性【地域連携事業】 石巻市SDGsモデル事業グリーンスローモビリティ研究【地域連携事業】 石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の利活用【地域連携事業】 地域特産オリーブを活用したオリーブ銀鮭・オリーブ鶏の開発～地域のブランド化戦略推進に資する養殖用飼料の開発～【地域連携事業】 配電線の絶縁耐力格差を用いた雷事故抑制に関する研究 牡鹿半島のニホンジカの幼角から得られる薬効成分の解析 													
成果		令和3年度に支援した地域連携事業3件について、「低利用魚の脂質特性」では、成分分析の結果、ドンコ(チゴタラ)やココノホシギンザメの肝臓に有効成分が多く含まれており、有効利用の可能性があると、「オリーブ銀鮭の開発」では、銀鮭のストレス耐性強化及び肉質改善等の諸効果を付与し得るオリーブを使用した餌の開発等の成果が報告された。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">地域連携事業に係る研究結果報告件数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5件</td> <td>3件</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> 令和4年度については、前年度から引き続き研究を続けている「オリーブ銀鮭の開発」において、海面養殖による初の水揚げに至り、今後の商品化が期待されるなど、着実に研究成果が現れている。					地域連携事業に係る研究結果報告件数			目標値	実績	達成率	5件	3件	60%
地域連携事業に係る研究結果報告件数															
目標値	実績	達成率													
5件	3件	60%													
成果に係る評価		石巻専修大学の持つ専門的な知見を活用することによって、本市のみでは把握できなかったデータの収集等により、地域課題の解決の一助とすることができた。 本事業をより一層効果的なものとするため、引き続き石巻専修大学と意見交換等を重ねながら、地域課題等を共有し、解決に向けた研究を推進していく。													
(単位:円)															
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳												
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	10,000,000	10,000,000				10,000,000									

予算科目	2 款	総務費	事業名	NPO支援推進事業																																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第1章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																	
	7 目	地域振興費		第1節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																	
	事業	市民協働推進費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る																																	
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ																																				
目的及び事業内容	<p>市民公益活動団体の活動支援の拠点として「石巻市NPO支援オフィス」を設置し、市民公益活動団体、市民、企業及び市の連携・交流の場所を提供することにより、NPOの育成・支援を図る。</p> <p>1 NPO支援オフィスの運営委託業務 2 情報収集提供事業 3 研修・カウンセリング事業 4 登録団体実態調査事業 5 協働推進コーディネート事業</p>																																					
取組実績	<p>NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのみきNPOセンターに、石巻市NPO支援オフィスの運営を委託し、利用者の様々なニーズに対応した。</p> <p>1 運営管理業務 (1) 会議室・ロッカー・メールボックスの貸し出し (2) 機器利用サービス(コピー機・簡易印刷機・パソコン等の貸し出し) 2 情報収集提供業務 (1) 市民公益活動情報の収集・提供及び図書資料の管理・貸出 (2) 情報掲示板・団体情報棚・オフィスホームページの管理 (3) 機関紙、メールマガジン及びメーリングリストでの情報発信 (4) 石巻かほく、石巻日日新聞、ラジオ石巻、市報いしのみきでの情報発信 3 研修・カウンセリング事業 (1) 相談会等相談対応業務 4 登録団体実態調査事業 (1) 登録団体実態調査及びヒアリング 5 協働推進コーディネート事業 (1) 勉強会・懇談会等の開催支援 (2) 団体設立支援業務</p>																																					
成果	<p>・NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図書閲覧者数</th> <th>パソコン利用者数</th> <th>機器利用者数</th> <th>広報等依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2実績</td> <td>1,362人</td> <td>97件</td> <td>672件</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>154件</td> <td>169件</td> </tr> <tr> <td>R3実績</td> <td>1,180人</td> <td>50件</td> <td>859件</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>202件</td> <td>378件</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>1,171人</td> <td>84件</td> <td>833件</td> <td>2人</td> <td>8人</td> <td>222件</td> <td>434件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・石巻市市民公益活動団体……登録数 192団体(前年比9団体増)「R5.3.31日時点」</p>						区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	広報等依頼数	R2実績	1,362人	97件	672件	0人	1人	154件	169件	R3実績	1,180人	50件	859件	0人	6人	202件	378件	R4実績	1,171人	84件	833件	2人	8人	222件	434件
	区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	広報等依頼数																														
R2実績	1,362人	97件	672件	0人	1人	154件	169件																															
R3実績	1,180人	50件	859件	0人	6人	202件	378件																															
R4実績	1,171人	84件	833件	2人	8人	222件	434件																															
成果に係る評価	<p>総来館者数については、昨年度とほぼ同数であったが、会議室利用数、機器利用者数及び広報依頼数は増加しており、コロナ禍でも、状況に適した形態で役割を果たせたものと考えている。団体からの相談は、団体設立、法人化に関するものや会計、労務等の団体運営に関するものが多いことから、事業を継続し、NPOの育成・支援を図っていく。</p> <p>また、石巻市総合体育館内に臨時移転し運営を行っているNPO支援オフィスの新しい移転先については、関係課等と協議を行っているところであり、引き続き調整を進めていく。</p>																																					
予算の執行状況	(単位:円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	9,962,000	9,961,300			9,961,300																																	

予算科目	2 款	総務費	事業名	集会所建設費補助事業																																						
	1 項	総務管理費	総合計画	第1章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																					
	7 目	地域振興費		第1節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																					
	事業	市民協働推進費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る																																					
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ P11																																								
目的及び事業内容	<p>町内会その他市長が認める者が行う地域住民のための集会所の建設等整備事業に対して補助金を交付することにより、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資するため、集会所の新築事業及び増築、改築、改装、修繕事業等に対し補助するもの。</p>																																									
取組実績	<p>集会所の新築及び修繕・改修に対して石巻市集会所建設費等補助金を交付した。</p> <p>1 新築1件 (1) 向永井部落会集会所 2 修繕6件 (1) 入生活センター (床、天井等修繕、クロス張替え等) (2) 牧山参道会館 (床、内壁及びバリアフリー等修繕、照明器具LED改修等) (3) 泉町町内会会館 (エアコン整備等修繕) (4) 給人町老人憩の家 (屋根、雨樋等修繕) (5) 梨木集落センター (外壁等塗装等修繕) (6) 福地林業者生活改善センター (外壁等塗装等修繕、トイレ改修)</p>																																									
成果	<p>各自治会においてコミュニティ活動の拠点となる集会所の建設等整備事業に対し、補助金を交付することで、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、行政とのまちづくりを推進するうえでの環境整備が図られた。</p> <p>また、建設費が上昇する中で新型コロナウイルス感染症の影響による資材高騰から、令和4年7月1日に①新築に係る建設費の㎡単位の補助上限額を増額、②修繕に係る補助上限額の増額について要綱改正を行った。</p> <p>要綱改正後、入生活センターでは②により補助金交付額が1,520,000円から1,610,000円に増額となり、自治会の負担軽減が図られた。</p> <p>石巻市集会所建設費等補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>対象事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向永井部落会集会所</td> <td>新築</td> <td>19,360,000円</td> <td>12,594,000円</td> </tr> <tr> <td>入生活センター</td> <td>修繕</td> <td>3,542,000円</td> <td>1,610,000円</td> </tr> <tr> <td>牧山参道会館</td> <td>修繕</td> <td>2,862,552円</td> <td>1,907,000円</td> </tr> <tr> <td>泉町町内会会館</td> <td>修繕</td> <td>1,479,588円</td> <td>986,000円</td> </tr> <tr> <td>給人町老人憩の家</td> <td>修繕</td> <td>1,531,150円</td> <td>1,020,000円</td> </tr> <tr> <td>梨木集落センター</td> <td>修繕</td> <td>1,173,700円</td> <td>782,000円</td> </tr> <tr> <td>福地林業者生活改善センター</td> <td>修繕</td> <td>7,969,665円</td> <td>3,137,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>37,918,655円</td> <td>22,036,000円</td> </tr> </tbody> </table>						集会所名	事業区分	対象事業費	補助金額	向永井部落会集会所	新築	19,360,000円	12,594,000円	入生活センター	修繕	3,542,000円	1,610,000円	牧山参道会館	修繕	2,862,552円	1,907,000円	泉町町内会会館	修繕	1,479,588円	986,000円	給人町老人憩の家	修繕	1,531,150円	1,020,000円	梨木集落センター	修繕	1,173,700円	782,000円	福地林業者生活改善センター	修繕	7,969,665円	3,137,000円	計		37,918,655円	22,036,000円
集会所名	事業区分	対象事業費	補助金額																																							
向永井部落会集会所	新築	19,360,000円	12,594,000円																																							
入生活センター	修繕	3,542,000円	1,610,000円																																							
牧山参道会館	修繕	2,862,552円	1,907,000円																																							
泉町町内会会館	修繕	1,479,588円	986,000円																																							
給人町老人憩の家	修繕	1,531,150円	1,020,000円																																							
梨木集落センター	修繕	1,173,700円	782,000円																																							
福地林業者生活改善センター	修繕	7,969,665円	3,137,000円																																							
計		37,918,655円	22,036,000円																																							
成果に係る評価	<p>地域で管理している集会所は、住民が共同で実施する行事や話し合い等を行う場であることから、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図るため、地域コミュニティを促進する上で重要な施設である。</p> <p>その施設の整備を進めるために改築、修繕及び改修等のほか、集会所のない地域での対応が必要であるが、各集会所の老朽化に係る多種多様な課題をはじめ建設費の上昇が続く中、近年では新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から資材の急激な高騰が起きていること、また、各地域では人口減少や少子高齢化が進んでおり、地域コミュニティの拠点整備に係る地元負担など今後についてもさまざまな課題が生じる恐れがあることから、各町内会のニーズや他市町村の制度・動向等を考慮した制度の見直しの検討も含めて、補助金の交付を継続する必要がある。</p>																																									
予算の執行状況	(単位:円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	22,036,000	22,036,000			21,254,000	782,000																																				

予算科目	2 款	総務費	事業名		地域づくり基金助成事業																																																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																	
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																																	
	事業	市民協働推進費		(2)	地域の均衡ある発展を図る																																																	
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P12																																																		
目的及び事業内容		市民の連携強化及び均衡ある地域振興に資するため、行政との協働のまちづくりにより実施する事業や地域コミュニティ活性化を図る事業に対し、限度額30万円を助成するもの。																																																				
取組実績		15団体より申請があり、一次審査及び公開プレゼンテーションによる審査の結果、全15団体に助成金を交付した。 目標値：申請件数18件、活動実施件数13件 1 新規助成団体数 4団体（本庁地区4件） 2 継続助成団体数 11団体（本庁地区10件、河南地区1件） 計 助成団体数 15団体（本庁地区14件、河南地区1件）																																																				
成果		事業の実施により、住民同士の交流が生まれ、地域コミュニティの活性化が図られたほか、震災の追悼や伝承、地域の自然環境を守る活動等により、市民の連携の強化及び地域振興が図られた。																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>団体の名称</th> <th>事業の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1マイルアートカフェ実行委員会</td> <td>「1マイルアートカフェ」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一般社団法人フードバンクいしのまき</td> <td>フードバンク・フードドライブ活動の推進事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一般社団法人サステナブルデザイン工房</td> <td>生活と文化に根差した地域資源の収集と観光資源としてのブラッシュアップ事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>河南鹿嶋ばやし保存会</td> <td>河南鹿嶋ばやし伝承事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>一般社団法人Hitoreha</td> <td>個性を育むバラレルアクティビティ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>特定非営利活動法人手作りで元気を作る会</td> <td>石巻の手作り作家と一般市民を繋ぐ展示会の開催事業</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会</td> <td>すばらしい北上運河沿線の自然環境美化活動</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>桃浦区</td> <td>浜に彩りを（令和4年度）</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>NPO法人Switch</td> <td>中卒進路未定者・通信制高校転学者の再出発支援事業の強化</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>一般社団法人石巻震災伝承の会</td> <td>被災体験からつむぐ防災学習プログラム実践事業</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>石巻緑のハイキングロード管理運営協議会</td> <td>石巻緑のハイキングロード及びつつじ園整備事業</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>石巻劇場芸術協会</td> <td>石巻まちなか映画祭事業</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター</td> <td>まちを明るくするパラスポーツの体験会</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>特定非営利活動法人こころの森</td> <td>こころのケア園芸療法（花の寄せ植え、協働の花畑事業）</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>一般社団法人ISHINOMAKI2.0</td> <td>石巻まちなかの本棚いしのまき本の教室「本を通じたまちなかの文化の醸成」</td> </tr> </tbody> </table>					No	団体の名称	事業の名称	1	1マイルアートカフェ実行委員会	「1マイルアートカフェ」	2	一般社団法人フードバンクいしのまき	フードバンク・フードドライブ活動の推進事業	3	一般社団法人サステナブルデザイン工房	生活と文化に根差した地域資源の収集と観光資源としてのブラッシュアップ事業	4	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業	5	一般社団法人Hitoreha	個性を育むバラレルアクティビティ	6	特定非営利活動法人手作りで元気を作る会	石巻の手作り作家と一般市民を繋ぐ展示会の開催事業	7	すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北上運河沿線の自然環境美化活動	8	桃浦区	浜に彩りを（令和4年度）	9	NPO法人Switch	中卒進路未定者・通信制高校転学者の再出発支援事業の強化	10	一般社団法人石巻震災伝承の会	被災体験からつむぐ防災学習プログラム実践事業	11	石巻緑のハイキングロード管理運営協議会	石巻緑のハイキングロード及びつつじ園整備事業	12	石巻劇場芸術協会	石巻まちなか映画祭事業	13	特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター	まちを明るくするパラスポーツの体験会	14	特定非営利活動法人こころの森	こころのケア園芸療法（花の寄せ植え、協働の花畑事業）	15	一般社団法人ISHINOMAKI2.0	石巻まちなかの本棚いしのまき本の教室「本を通じたまちなかの文化の醸成」
No	団体の名称	事業の名称																																																				
1	1マイルアートカフェ実行委員会	「1マイルアートカフェ」																																																				
2	一般社団法人フードバンクいしのまき	フードバンク・フードドライブ活動の推進事業																																																				
3	一般社団法人サステナブルデザイン工房	生活と文化に根差した地域資源の収集と観光資源としてのブラッシュアップ事業																																																				
4	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業																																																				
5	一般社団法人Hitoreha	個性を育むバラレルアクティビティ																																																				
6	特定非営利活動法人手作りで元気を作る会	石巻の手作り作家と一般市民を繋ぐ展示会の開催事業																																																				
7	すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北上運河沿線の自然環境美化活動																																																				
8	桃浦区	浜に彩りを（令和4年度）																																																				
9	NPO法人Switch	中卒進路未定者・通信制高校転学者の再出発支援事業の強化																																																				
10	一般社団法人石巻震災伝承の会	被災体験からつむぐ防災学習プログラム実践事業																																																				
11	石巻緑のハイキングロード管理運営協議会	石巻緑のハイキングロード及びつつじ園整備事業																																																				
12	石巻劇場芸術協会	石巻まちなか映画祭事業																																																				
13	特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター	まちを明るくするパラスポーツの体験会																																																				
14	特定非営利活動法人こころの森	こころのケア園芸療法（花の寄せ植え、協働の花畑事業）																																																				
15	一般社団法人ISHINOMAKI2.0	石巻まちなかの本棚いしのまき本の教室「本を通じたまちなかの文化の醸成」																																																				
成果に係る評価		申請件数は前年度と同じ15件であり、目標値を下回ったが、活動実施件数は前年度から2件増の15件となり、目標値を上回った。 活動内容は環境美化や震災伝承といった多様な分野となっており、採択団体の活動を通じ、より効果的に地域コミュニティの活性化や地域振興が図られている。また、前年度同様、新型コロナウイルス感染症の状況に配慮し、市民審査員の募集は中止としたものの、審査会の動画公開は継続し、各団体の活動を市民に広く周知した。																																																				
（単位：円）																																																						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																																			
	決算額		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	3,700,000		3,364,000		3,364,000																																																	

予算科目	2 款	総務費	事業名		復興応援隊設置事業																					
	1 項	総務管理費	総合計画	第 章																						
	7 目	地域振興費		第 節																						
	事業	行政推進費		()																						
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ																								
目的及び事業内容		被災者の見守りやケア、地域おこし活動などの復興に伴う地域協力活動を通じ、コミュニティの再構築を図る。																								
取組実績		令和4年度復興応援隊設置事業委託契約額等																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>隊員数</th> <th>契約額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td> <td>2人</td> <td>8,437,994円</td> <td>・市民が主体となった震災伝承活動の支援 ・市民参加による震災伝承プログラムの実施 ・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会や地域団体との調整 ほか</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>3人</td> <td>11,754,600円</td> <td>・地域活性化活動への支援（イベント協力） ・観光PRや地域活動PRの実践 ・地域コミュニティ活動支援 ・道の駅PR活動支援 季刊誌「砦上の里」発行：4回 ほか</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>3人</td> <td>8,602,000円</td> <td>・被災地への利活用 ・「住み続けられるまちづくり」のためのSDGs啓発推進活動 ・北上地域の活性化支援 ・北上地域の情報発信及び広報：12回 ほか</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>28,794,594円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					地区	隊員数	契約額	内容	中央	2人	8,437,994円	・市民が主体となった震災伝承活動の支援 ・市民参加による震災伝承プログラムの実施 ・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会や地域団体との調整 ほか	雄勝	3人	11,754,600円	・地域活性化活動への支援（イベント協力） ・観光PRや地域活動PRの実践 ・地域コミュニティ活動支援 ・道の駅PR活動支援 季刊誌「砦上の里」発行：4回 ほか	北上	3人	8,602,000円	・被災地への利活用 ・「住み続けられるまちづくり」のためのSDGs啓発推進活動 ・北上地域の活性化支援 ・北上地域の情報発信及び広報：12回 ほか	計		28,794,594円	
地区	隊員数	契約額	内容																							
中央	2人	8,437,994円	・市民が主体となった震災伝承活動の支援 ・市民参加による震災伝承プログラムの実施 ・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会や地域団体との調整 ほか																							
雄勝	3人	11,754,600円	・地域活性化活動への支援（イベント協力） ・観光PRや地域活動PRの実践 ・地域コミュニティ活動支援 ・道の駅PR活動支援 季刊誌「砦上の里」発行：4回 ほか																							
北上	3人	8,602,000円	・被災地への利活用 ・「住み続けられるまちづくり」のためのSDGs啓発推進活動 ・北上地域の活性化支援 ・北上地域の情報発信及び広報：12回 ほか																							
計		28,794,594円																								
		※中央地区の隊員数については、10月1日から体調不良により1名減																								
成果		<p>【中央地区】 震災学習プログラムにより、修学旅行や校外学習の受入も増加し、参加者からは「案内のおかげでより深く学ぶことができた」という意見も多くいただいた。また、地域住民による語り部や、地域団体と連携したプログラムを提供できた。</p> <p>【雄勝地区】 おがつ海鮮まつりのサポートやビーチクリーン活動を通じて、地域コミュニティの活性化や観光PRの実践を行うことができた。また年に4回発行している季刊誌では、地域や道の駅内の明るい話題に紙面を割き、手に取った住民がより雄勝を身近に感じるよう工夫したことで、自分たちのまちへの関心を高めることができた。</p> <p>【北上地区】 ニーズの掘り起こしを目的とした起業・創業支援窓口等の設置運営や被災地地活用の情報発信、また、自治会等の実情や要望に応じた相談業務等の支援活動を行い、北上地区の住民主体となるコミュニティの再構築を促進することができた。</p>																								
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症の制限がある中であったが、各地区でのイベント等を実施し地域コミュニティの活性化につながった。 本事業については、第2期復興・創生期間の終了を見据え、住民が自分たちで主体的に活動ができるよう、人材育成や地域コミュニティの構築支援を行い、住民主体の地域活動への定着を図る。																								
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																							
	決算額		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	29,581,000		28,794,594		28,794,594																					

予算科目	2 款	総務費	事業名	コミュニティ形成支援補助事業																																																																							
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																																						
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																																																						
	事業	行政推進費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る																																																																						
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P11																																																																							
目的及び事業内容	震災の影響で自治会等による祭りなどのイベント開催が困難となり、住民同士の交流の場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業などに補助を行い、自治会等の活動やコミュニティの形成促進を図るもの。																																																																										
取組実績	自治会等が主体となり実施した交流イベント等に対し助成を行った。 コミュニティ形成支援補助金 (1) 対象事業 住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを推進するための事業 (2) 申請上限 1団体につき年1回までとし、上限5万円 (3) 事業内容 環境美化清掃、お祭り、敬老会、懇親会、防災訓練等																																																																										
成果	<p>新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和2年度は令和元年度と比較して交付件数が大幅に減少したが、徐々に交付件数が回復し、令和4年度は前年度比較で26件の増加となった。 コミュニティ形成支援事業により地域住民主体の地域活動の実施を支援することで、住民同士の交流活動が行われるようになり、地域コミュニティの促進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区名</th> <th colspan="5">補助金交付件数 (単位：件)</th> <th rowspan="2">R4 補助金交付額</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻</td> <td>102</td> <td>94</td> <td>29</td> <td>39</td> <td>52</td> <td>2,365,422円</td> </tr> <tr> <td>河北</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>88,804円</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>32,128円</td> </tr> <tr> <td>河南</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>660,062円</td> </tr> <tr> <td>桃生</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>199,940円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>168</td> <td>162</td> <td>41</td> <td>51</td> <td>77</td> <td>3,496,356円</td> </tr> </tbody> </table>							地区名	補助金交付件数 (単位：件)					R4 補助金交付額	H30	R1	R2	R3	R4	石巻	102	94	29	39	52	2,365,422円	河北	17	17	1	0	2	88,804円	雄勝	4	1	1	1	1	32,128円	河南	31	31	7	7	15	660,062円	桃生	7	9	0	0	0	0円	北上	3	6	3	3	3	150,000円	牡鹿	4	4	0	1	4	199,940円	計	168	162	41	51	77	3,496,356円
地区名	補助金交付件数 (単位：件)					R4 補助金交付額																																																																					
	H30	R1	R2	R3	R4																																																																						
石巻	102	94	29	39	52	2,365,422円																																																																					
河北	17	17	1	0	2	88,804円																																																																					
雄勝	4	1	1	1	1	32,128円																																																																					
河南	31	31	7	7	15	660,062円																																																																					
桃生	7	9	0	0	0	0円																																																																					
北上	3	6	3	3	3	150,000円																																																																					
牡鹿	4	4	0	1	4	199,940円																																																																					
計	168	162	41	51	77	3,496,356円																																																																					
成果に係る評価	地域住民が主体となって実施するコミュニティ活動の促進に必要な行事等が、東日本大震災の影響により減少したため、各自治会に対して地域コミュニティの形成、促進を図る各種イベントや活動等の事業を行う場合、平成24年度からコミュニティ形成支援補助金を交付している。 東日本大震災から11年が経過し、本事業の実施により、住民同士の交流活動が行われ、自治会等の機能強化や地域の活性化が図られてきたことから、当初の目的はおおむね達成していると思料される。 このことから、令和4年度で本事業を終了し、これまで培ってきた住民同士の繋がりを等を持続させるため、保健福祉総務課で地域の互助・助け合い活動に対して助成している「石巻市地域互助活動促進事業」へ移行した。																																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				(単位：円)																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
	4,000,000	3,496,356			3,496,356																																																																						

予算科目	2 款	総務費	事業名	国内姉妹都市・友好都市交流推進事業				
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実			
	事業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費		(3)	友好都市等との交流を推進する			
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P13				
目的及び事業内容	国内姉妹都市・友好都市と産業・文化・歴史など、各市町の特性を活かした交流事業を通して、相互理解の促進と地域の活性化を図るとともに、両市民の友好協力関係を築き、各市町との連携を深めることを目的とする。							
取組実績	<p>【山形県河北町】 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</p> <p>【茨城県ひたちなか市】 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</p> <p>【山口県萩市】 「萩・明倫学舎開館5周年記念 ～学舎維新祭～ 姉妹都市・友好都市ご当地フェア」 開催期間：令和4年11月12日から11月20日までの9日間 開催場所：萩・明倫学舎本館多目的復元教室 開催内容：各市のポスター、パンフレット、交流経緯紹介パネル設置、特産品による物産展など</p>							
成果	萩市で開催された「姉妹都市・友好都市ご当地フェア」では、8,000人を超える多くの来場者に対し、ポスター、パンフレット及び特産品を通して本市をPRすることができた。							
成果に係る評価	萩市での交流事業ができたことは、相互理解の一助となった。 令和5年度については、ひたちなか市への派遣交流事業、河北町との交流事業も再開予定であることから、市民間による対面交流を実施し、各市町との友好協力関係を築いていきたい。							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				(単位：円)	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,000	3,168					3,168	

予算科目	2 款	総務費	事業名		結婚支援事業																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																									
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																									
	事業	結婚支援事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																									
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P14																										
目的及び事業内容	結婚から妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援を推進するため、また、未婚・晩婚化の抑制を図るため、結婚を希望する者に対して出会いの機会を提供するとともに、これから夫婦として新生活をスタートさせようとする世帯を対象に、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用を支援する。																													
取組実績	<p>各種補助金の交付を行った。</p> <p>1 結婚等支援事業補助金 団体等が地域資源を活用しながら結婚に対する意識向上を図る取組等を実施する事業に対し補助金(婚活事業上限30万円、恋活事業上限15万円)を交付し、延べ40人(男女各20人)が参加した。</p> <p>2 結婚新生活支援事業補助金 地域における少子化対策の強化に資するとともに本市への移住及び定住を推進することを目的とし、若い世代の婚姻に伴う新生活に係る支援を行い、経済的不安の軽減を図るため、新規に婚姻した夫婦に対して補助金(29歳以下上限60万円、30歳以上39歳以下上限30万円)を交付した。</p> <p>3 みやぎ結婚支援センター利用促進補助金 宮城県が設置するみやぎ結婚支援センターの利用促進を図り、結婚を希望する者の出会いの機会拡大を図るため補助金(登録料の半額5,500円)を交付した。さらに、令和4年11月14日から令和5年3月31日に宮城県が実施した20歳代の登録半額キャンペーンに運動し、半額となった登録料の全額(5,500円)を補助した。 ※市民のみやぎ結婚支援センター登録者数 144人(令和5年3月31日時点)</p>																													
成果	<p>各種補助金を交付したことにより、結婚を希望する者へ出会いの機会を提供するとともに、新規に婚姻した夫婦に対する支援が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金名称</th> <th>交付件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">結婚等支援事業補助金</td> <td>婚活事業 2件</td> <td>婚活事業 505,431円</td> </tr> <tr> <td>恋活事業 0件</td> <td>恋活事業 0円</td> </tr> <tr> <td>合計 2件</td> <td>合計 505,431円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">結婚新生活支援事業補助金</td> <td>29歳以下 35件</td> <td>29歳以下 13,858,000円</td> </tr> <tr> <td>30歳以上 16件</td> <td>30歳以上 4,076,000円</td> </tr> <tr> <td>合計 51件</td> <td>合計 17,934,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">みやぎ結婚支援センター利用促進補助金</td> <td>通常分 40件</td> <td>通常分 220,000円</td> </tr> <tr> <td>キャンペーン分 4件</td> <td>キャンペーン分 22,000円</td> </tr> <tr> <td>合計 44件</td> <td>合計 242,000円</td> </tr> </tbody> </table>						補助金名称	交付件数	交付金額	結婚等支援事業補助金	婚活事業 2件	婚活事業 505,431円	恋活事業 0件	恋活事業 0円	合計 2件	合計 505,431円	結婚新生活支援事業補助金	29歳以下 35件	29歳以下 13,858,000円	30歳以上 16件	30歳以上 4,076,000円	合計 51件	合計 17,934,000円	みやぎ結婚支援センター利用促進補助金	通常分 40件	通常分 220,000円	キャンペーン分 4件	キャンペーン分 22,000円	合計 44件	合計 242,000円
補助金名称	交付件数	交付金額																												
結婚等支援事業補助金	婚活事業 2件	婚活事業 505,431円																												
	恋活事業 0件	恋活事業 0円																												
	合計 2件	合計 505,431円																												
結婚新生活支援事業補助金	29歳以下 35件	29歳以下 13,858,000円																												
	30歳以上 16件	30歳以上 4,076,000円																												
	合計 51件	合計 17,934,000円																												
みやぎ結婚支援センター利用促進補助金	通常分 40件	通常分 220,000円																												
	キャンペーン分 4件	キャンペーン分 22,000円																												
	合計 44件	合計 242,000円																												
成果に係る評価	引き続き、出会いの機会を提供するとともに、経済的な理由で結婚に踏み出せない男女を後押しすることを目的に、市内で新生活を始める新婚世帯に対して、スタートアップに係る費用(住宅取得費用、家賃、引越費用など)の一部として補助金を交付し、未婚・晩婚化の抑制を図るとともに、本市への移住・定住者の増加を図るために、事業を継続していく。																													
予算の執行状況	(単位:円)																													
予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
18,681,431	18,681,431	14,101,185		4,224,000	356,246																									

予算科目	2 款	総務費	事業名		地域まちづくり委員会事業																																															
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																															
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																															
	事業	地域振興関係費		(2)	地域の均衡ある発展を図る																																															
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P12																																																
目的及び事業内容	地域まちづくり委員会は、平成17年4月の合併に伴う市民意識調査の中で、地域の声が届かないという意見があったことから、均衡ある発展及び活性化を図るため、旧町単位で設置したものである。委員会は市長からの諮問に応じて調査及び審議をし、市長へ答申するほか、各地域のまちづくり施策についても検討して、市長へ提案する役割を担っており、地域の活性化に向けた取組を行う。																																																			
取組実績	<p>まちづくり委員会開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">委員数</th> <th colspan="2">第1回</th> <th colspan="2">第2回</th> </tr> <tr> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区</td> <td>14人</td> <td>9月30日</td> <td>13人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>15人</td> <td>2月8日</td> <td>11人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>18人</td> <td>1月19日</td> <td>16人</td> <td>1月24日</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>10人</td> <td>7月4日</td> <td>10人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>16人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>10人</td> <td>1月26日</td> <td>8人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分	委員数	第1回		第2回		開催日	参加人数	開催日	参加人数	河北地区	14人	9月30日	13人			雄勝地区	15人	2月8日	11人			河南地区	18人	1月19日	16人	1月24日	10人	桃生地区	10人	7月4日	10人			北上地区	16人					牡鹿地区	10人	1月26日	8人		
区分	委員数	第1回		第2回																																																
		開催日	参加人数	開催日	参加人数																																															
河北地区	14人	9月30日	13人																																																	
雄勝地区	15人	2月8日	11人																																																	
河南地区	18人	1月19日	16人	1月24日	10人																																															
桃生地区	10人	7月4日	10人																																																	
北上地区	16人																																																			
牡鹿地区	10人	1月26日	8人																																																	
成果	<p>1 河北地区 地域の課題等に関する協議のほか、(仮称)河北地区統合保育所の開設スケジュール、地域自治システム、公共施設のあり方について意見をいただき、事業推進の参考とした。</p> <p>2 雄勝地区 地域の課題等に関する協議のほか、雄勝ガーデンパークの進捗状況について意見をいただき、事業推進の参考とした。</p> <p>3 河南地区 第2期石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画に係る河南地区保育所再編、新学校給食センターの建設用地、石巻市立小・中学校における学区再編計画、総合支所のあり方の検討状況について意見をいただき、事業推進の参考とした。</p> <p>4 桃生地区 石巻市過疎地域持続的発展計画の変更について意見をいただき、事業推進の参考とした。</p> <p>5 北上地区 令和4年度開催なし</p> <p>6 牡鹿地区 令和3年度市長懇談会要望事項の進捗状況等、県道石巻鮎川線の工事概要について意見をいただき、事業推進の参考とした。</p>																																																			
成果に係る評価	令和4年度は、各地域の課題等に関する協議のほか、各種事業や計画等についての意見交換を行い、地域の視点によるまちづくりの方向性などについて、委員相互の共通認識を深めることができた。委員会の役割として、地域のまちづくり施策について検討し、市長へ提案することも含まれていることから、委員相互において協議を重ね、提案に向けた取組を行っていく。また、各地区において、開催頻度に差が生じていることから、年2~3回程度の開催実施に向けて取り組んでいく。																																																			
予算の執行状況	(単位:円)																																																			
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
1,323,000	692,107			636,500	55,607																																															

予算科目	2 款	総務費	事業名	移住対策事業										
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち									
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進									
	事業	地域交流・定着支援等事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る									
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課		実施計画掲載ページ	P14										
目的及び事業内容	<p>少子高齢化、人口減少が本市の大きな課題となっており、持続可能な自治体運営のためには、移住・定住の促進による人口の維持が求められていることから、移住相談窓口の設置やお試し移住体験等の事業を実施するほか、住宅の取得等に伴う支援を行い、移住希望者が移住を検討しやすい環境を整備し、移住・定住の促進を図る。</p>													
取組実績	<p>1 移住相談窓口設置等業務 委託期間：R4.4.1～R5.3.31 (1) 移住相談業務 ・移住相談窓口の開設（移住コンシェルジュ3名体制） ・移住支援に関するポータルサイトの開設 ・SNS等を活用したPR活動 実績 新規相談者数：209名 移住者数：78件152名 (2) 空き家バンク業務 ・利用希望者数：4件 (3) 移住・定住促進業務 ・移住促進イベントへの参加 5回 内訳：東京3回、仙台1回、オンライン1回 ・移住促進イベントの開催 2回 内訳：市内1回（ツアーの開催）、オンライン1回 (4) お試し移住体験希望者への支援 ・中央第三復興住宅 利用実績：29件47名 ・折浜復興住宅 利用実績：5件 9名 ・民間施設利用 利用実績：2件 2名 2 定住促進住宅取得等補助金 市外から転入して住宅を取得又は改修した方に対して補助金を交付した。 補助額 取得の場合：最大150万円 改修の場合：最大 50万円 交付実績 取得：51件52,310,000円 改修：2件 1,000,000円 計 53件53,310,000円 3 移住支援金 東京圏一極集中の是正を図るため、県及び県内市町村が共同して支援金を支給した。 令和4年4月から、18歳未満の世帯員が帯同して移住された場合、18歳未満の世帯員1人につき、30万円を加算して支給した。 支給額 世帯移住100万円、単身移住60万円 交付実績 世帯移住：8件（うち子育て世帯加算1件） 単身移住：10件 計 18件14,300,000円 4 魅力発信 仙台発・大人の情報誌「りらく」（R4年10月号）に本市の観光や食の情報、移住者や移住相談窓口の紹介、ふるさと納税に関する記事を掲載した。</p>													
成果	<p>各種補助制度やお試し移住体験事業などの移住施策を広く周知し、活用につながったことで、移住者数が大幅に増加した。</p> <p>移住対策事業を活用した移住者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>76名</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>150名</td> <td>152名</td> </tr> </tbody> </table>					区分	目標	実績	R3		76名	R4	150名	152名
区分	目標	実績												
R3		76名												
R4	150名	152名												
成果に係る評価	<p>移住を促進するため、転出の多い首都圏や仙台市で開催の移住促進イベント等に参加したほか、積極的にポータルサイトやSNS等で情報発信を行ったことで、本市の魅力や移住施策等を広くPRすることができた。 子育て世帯に対する支援を拡充したことで、若者世代の移住促進を図ることができたが、移住希望者の多様なニーズに対応し、更なる移住促進を図っていくため、きめ細やかな支援策を検討・実施していく。</p>													
予算の執行状況	(単位：円)													
予算額	決算額	決算額の財源内訳												
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
94,257,844	85,137,088	10,746,367		55,310,000	19,080,721									

予算科目	2 款	総務費	事業名	地域おこし協力隊設置事業																													
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																												
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																												
	事業	地域交流・定着支援等事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																												
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課		実施計画掲載ページ	P14																													
目的及び事業内容	<p>三大都市圏又は政令指定都市等から、地域活性化に意欲があり本市に定住する意思のある人材を受け入れ、地域おこし協力隊として委嘱し、地域振興及び地域の活性化が図られる活動に従事しながら、本市への定住・定着を図る。</p>																																
取組実績	<p>1 地域おこし協力隊の起業等支援 退任後の定住・定着を図るため、隊員が起業・事業承継した場合に、令和4年度からこれに要する経費を補助した。 活用実績 1名（R4.9.1退任、市内で起業） 2 令和4年度の新規地域おこし協力隊員配属状況及び活動内容【右腕型】 (1) 50代女性（前住所地：宮城県多賀城市、R4.7.1委嘱） 活動内容：ハーフ事業を通して、人々に癒しや健康増進を提供する活動 (2) 40代女性（前住所地：東京都品川区、R4.7.1委嘱） 活動内容：空き家を活用した小規模多機能施設の運営及びコミュニティ事業による出会いや交流から社会的孤立を防ぎ個人を地域や社会で支えていく活動 (3) 40代男性（前住所地：東京都品川区、R4.7.1委嘱） 活動内容：ササニシキ米の海外への輸出及び国内オーガニック市場への営業活動 (4) 40代男性（前住所地：埼玉県富士見市、R4.7.1委嘱） 活動内容：牡蠣生産者、漁協との連携強化及び生産体制構築による水産業の活性化を図る活動 (5) 30代男性（前住所地：宮城県仙台市、R5.3.1委嘱） 活動内容：ぶどうの栽培及びワインの醸造、販売を通し持続可能な地域づくりをする活動 3 隊員に対する活動支援 (1) コーディネーターの配置 ・隊員1人につき1人以上のコーディネーターを配置し、面談等で活動状況等を把握するとともに、起業等に向けた指導・助言等を行った。 (2) 研修等の実施 ・人材育成支援として、隊員同士が交流する場を設けたほか、各隊員の活動内容等を共有し、課題解決を図った。 (3) 活動報告会の実施 ・活動報告会を実施し、報告内容をポータルサイトに掲載して市民等に広く周知した。 (4) 事務局会議の実施 ・コーディネーターから、隊員と受入事業者の近況を報告してもらった場を毎月設けて情報共有を図り、課題等の解決を図った。 (5) 地域おこし協力隊に関する各種イベントへの参加 ・県内で実施された地域おこし協力隊に関するイベントへ隊員が参加し、隊員交流及び活動内容のPRを行った。</p>																																
成果	<p>平成29年度から令和5年3月31日まで14名の方を委嘱し、任期満了等で6名が退任したが、そのうち5名が退任後も本市に定住・定着した。 ※()内は新規隊員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>処遇</th> <th>委嘱人数</th> <th>活動中</th> <th>退任済</th> <th>定着人数</th> <th>定着率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>右腕型</td> <td>会計年度任用職員</td> <td>13名(5名)</td> <td>7名(4名)</td> <td>6名(1名)</td> <td>5名(1名)</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>地域課題提案型</td> <td>個人事業主</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>14名(5名)</td> <td>8名(4名)</td> <td>6名(1名)</td> <td>5名(1名)</td> <td>83%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	処遇	委嘱人数	活動中	退任済	定着人数	定着率	右腕型	会計年度任用職員	13名(5名)	7名(4名)	6名(1名)	5名(1名)	83%	地域課題提案型	個人事業主	1名	1名	-	-	-	計		14名(5名)	8名(4名)	6名(1名)	5名(1名)	83%
区分	処遇	委嘱人数	活動中	退任済	定着人数	定着率																											
右腕型	会計年度任用職員	13名(5名)	7名(4名)	6名(1名)	5名(1名)	83%																											
地域課題提案型	個人事業主	1名	1名	-	-	-																											
計		14名(5名)	8名(4名)	6名(1名)	5名(1名)	83%																											
成果に係る評価	<p>任期満了で退任した1名に対して、起業に要する経費を支援したことにより、その後の定住につながった。 令和4年度に5名の地域おこし協力隊員が新たに加わり、受入事業者のもとでノウハウを学びながら、定住・定着に向けて積極的に活動しているところであり、これまで任用した隊員についても、退任後の定着率が高く、移住定住促進に有効な施策であることから、継続して実施していくとともに隊員数の増加も検討していく。 また、定着に向けて隊員の活動等の認知度向上を図っていくことが重要であることから、市報等を活用して情報発信に取り組む。</p>																																
予算の執行状況	(単位：円)																																
予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
44,614,576	43,514,693				43,514,693																												

予算科目	2 款	総務費	事業名	ふるさとワーキングホリデー実施事業																																										
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																									
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																																									
	事業	地域交流・定着支援等事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																																									
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課		実施計画掲載ページ	P15																																										
目的及び事業内容	<p>都市部の若者等がおおむね2週間から1か月程度、働きながら本市に滞在し、収入を得ながら地域の人たちとの交流等を通じ、関わりを深める機会を提供するふるさとワーキングホリデー事業を実施することで、関係人口の創出や将来的な移住の促進を図る。</p>																																													
取組実績	<p>1 ふるさとワーキングホリデー事業運営業務 委託期間R4.7.29～R5.3.31</p> <p>(1) 委託先 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン</p> <p>(2) 連携団体 ア 一般社団法人ISHINOMAKI2.0 …ウェブ制作、広報、交流イベントの開催、街づくり・芸術関連団体の受入運営 イ 株式会社街づくりまんぼう …交流イベントの開催、漫画関連企業の受入運営 ウ 一般社団法人イシノマキ・ファーム …交流イベントの開催、農業関連企業の受入運営</p> <p>(3) 主な内容 ア 相談(問い合わせ)窓口の設置 イ 受入企業等の募集及び選定 ウ 参加者の募集(総務省ホームページ及び独自ポータルサイトへの募集情報の掲載) エ 地域との関わりを深める取組の提供</p> <p>(4) 実績 ア 受入企業等(就労場所) 6団体 イ 参加者数 25名(平均年齢:23.8歳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>分野</th> <th>就労内容</th> <th>地域との関わりを深める機会(交流イベント)</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>芸術</td> <td>アートイベント会場運営業務</td> <td>アート見学、市街地街歩き</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>漁業</td> <td>わかめの種付け、牡蠣の水揚げ、運搬作業</td> <td>漁師と半島ドライブ</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>漁業</td> <td>わかめの選別、パック詰め</td> <td>市内観光(萬画館、温泉等)</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>農業</td> <td>野菜の収穫・選別、出荷準備</td> <td>芋ほり体験、カヌー体験</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>農業</td> <td>野菜の収穫・選別、出荷準備</td> <td>里山散策</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>マンガ</td> <td>イベント企画、街づくり業務</td> <td>田代島散策、市街地街歩き</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table>						No	分野	就労内容	地域との関わりを深める機会(交流イベント)	参加者数	1	芸術	アートイベント会場運営業務	アート見学、市街地街歩き	10名	2	漁業	わかめの種付け、牡蠣の水揚げ、運搬作業	漁師と半島ドライブ	2名	3	漁業	わかめの選別、パック詰め	市内観光(萬画館、温泉等)	7名	4	農業	野菜の収穫・選別、出荷準備	芋ほり体験、カヌー体験	2名	5	農業	野菜の収穫・選別、出荷準備	里山散策	2名	6	マンガ	イベント企画、街づくり業務	田代島散策、市街地街歩き	2名	計				25名
No	分野	就労内容	地域との関わりを深める機会(交流イベント)	参加者数																																										
1	芸術	アートイベント会場運営業務	アート見学、市街地街歩き	10名																																										
2	漁業	わかめの種付け、牡蠣の水揚げ、運搬作業	漁師と半島ドライブ	2名																																										
3	漁業	わかめの選別、パック詰め	市内観光(萬画館、温泉等)	7名																																										
4	農業	野菜の収穫・選別、出荷準備	芋ほり体験、カヌー体験	2名																																										
5	農業	野菜の収穫・選別、出荷準備	里山散策	2名																																										
6	マンガ	イベント企画、街づくり業務	田代島散策、市街地街歩き	2名																																										
計				25名																																										
成 果	<p>街づくりや担い手事業を実施している事業者が連携して、多様な業種の就労場所や地域との関わりを深める機会を提供したことで、これまで本市を訪れたことがない多くの参加者に本市の魅力を知ってもらったことができた。</p> <p>また、アンケートにおいても満足度の高い結果が得られ、関係人口の創出拡大が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">再度本市を訪れたいと回答した参加者の割合</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>80%</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table>						再度本市を訪れたいと回答した参加者の割合			区分	目標	実績	R4	80%	96%																															
再度本市を訪れたいと回答した参加者の割合																																														
区分	目標	実績																																												
R4	80%	96%																																												
成果に係る評価	<p>ふるさとワーキングホリデー事業を実施したことで、関係人口の創出・拡大及び地域活性化を図ることができた。</p> <p>20代の学生の参加が多かったことから、今後の移住促進に向けて、今回の機会を得たつながりを継続していくとともに、担い手事業やその他の移住施策につなげていく。</p>																																													
予算の執行状況	(単位:円)																																													
予算額	11,939,149	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
		11,645,440				11,645,440																																								

予算科目	2 款	総務費	事業名	ずっと住みたい地域づくり支援事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	ずっと住みたい地域づくり支援事業費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る		
担当部課	市民生活部地域協働課		実施計画掲載ページ	P11			
目的及び事業内容	<p>地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため地域自治システムの構築を進める。</p> <p>震災により甚大な被害を受け地域コミュニティが崩壊した中で、新たな住民主体の活動にかかる意識醸成が難しい地域もあるが、各地域の実情を考慮しながら、市内全域での住民自治組織設立に向け支援を行うもの。</p>						
取組実績	<p>地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進するとともに、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。</p> <p>また、その地域において活動実績のあるNPO等の団体による住民自治組織サポート事業を実施することで、住民自治組織設立に向けて意識の醸成が図られ、住民自治組織の構築に向けた、具体的な協議が行われた。</p> <p>【事業別実績】</p> <p>1 住民自治組織交付金</p> <p>(1) 山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会 1,294,121円 (2) 河南地区 河南地域住民自治協議会 2,184,680円 (3) 桃生地区 ものう夢ネットワーク 1,023,934円 (4) 蛇田地区 蛇田地区住民協議会 76,280円(国:被災者支援総合交付金 10/10) 合計額 4,579,015円</p> <p>2 住民自治組織設立支援事業費補助金</p> <p>(1) 蛇田地区 蛇田地区住民協議会設立準備委員会 71,633円(国:被災者支援総合交付金 10/10) (2) 湊地区 湊地区まちづくり協議会設立準備会 272,801円(国:被災者支援総合交付金 10/10) 合計額 344,434円</p> <p>3 住民自治組織サポート事業(特定非営利活動法人ばんぶきんふれあい会)</p> <p>(1) 湊地区 組成に向けた準備会の構築、会議実施、関係者ヒアリング、啓発チラシ作成 委託料 1,106,200円(国:被災者支援総合交付金 10/10)</p>						
成 果	<p>【設立された自治組織への支援】</p> <p>住民自治組織交付金を交付し、自治組織の活動に対する支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により事業の縮小や中止を余儀なくされたものもあるが、各自治組織では、感染予防を心がけながら事業を推進し、地域コミュニティの活性化が図られた。</p> <p>【新規自治組織の設立】</p> <p>新たな自治組織設立に向け、住民自治組織サポート事業及び担当課のサポートにより支援を行うとともに、設立支援事業費補助金の交付により新規2地区(蛇田地区、湊地区)の設立に至った。</p>						
成果に係る評価	<p>住民自治組織の活動に対する助成を行うことにより、新型コロナウイルス感染症による制限はあったものの、各地区における課題の解決、住民同士の交流の促進など地域コミュニティの活性化が図られた。</p> <p>その一方で、住民自治組織の設立数は市内16地区のうち6地区にとどまっており、今後は未設立地区の住民に対する意識醸成を推進するとともに、行政側からの組織設立に向けた積極的な働きかけ及びサポートを行い、新規組織設立を推進する必要がある。</p>						
予算の執行状況	(単位:円)						
予算額	6,921,000	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		6,029,649	1,526,000			4,503,649	

予算科目	2 款	総務費	事業名	離島振興対策事業																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																
	8 目	離島振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																
	事業	離島振興対策費		(2)	地域の均衡ある発展を図る																
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P12																	
目的及び事業内容	既存の観光施設や地理的条件を生かした自然環境を有効に活用し、本市の離島の魅力を広く発信することにより、交流人口の更なる拡大を目指す。島民及び県内離島保有市町と連携し、島の現状に即した事業を行い離島振興及び活性化を図る。																				
取組実績	<p>離島振興対策事業として、島民及び県内離島保有市町との連携を図り、下記のとおり実施した。</p> <p>1 関係市町とのアイランダーへの出展 実施日：令和4年11月19日～11月20日 場 所：池袋サンシャインシティ文化会館3階 展示ホールC 内 容：来場者へのPR、観光マップの配布、島内限定グッズの配布、観光動画の上映 ほか</p> <p>2 宮城県及び宮城県議会への要望活動 実施日：令和4年11月21日 場 所：宮城県庁 内 容：離島地域における医療の確保及び医療体制の充実 ほか5件</p> <p>3 田代島PR動画の制作及び公開 内 容：新たな観光客等の獲得のため、島内のさまざまな情報を紹介するPR動画を制作 活 用：市のホームページで公開、網地島ライン船内での上映 ほか</p>																				
成 果	<p>離島（田代島、網地島）への交流人口については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標は達成されていないものの、上記活動により、前年度比で5,000人程度の増加となった。</p> <p>田代島及び網地島への交流人口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>45,001人</td> <td>25,410人</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>45,001人</td> <td>21,852人</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>51,323人</td> <td>26,635人</td> <td>52%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	目標値	実績等	達成率	R2	45,001人	25,410人	56%	R3	45,001人	21,852人	49%	R4	51,323人	26,635人	52%
区分	目標値	実績等	達成率																		
R2	45,001人	25,410人	56%																		
R3	45,001人	21,852人	49%																		
R4	51,323人	26,635人	52%																		
成果に係る評価	交流人口を伸ばすためには、離島の魅力を伝えることが必要であることから、今後もアイランダーでのPRなど、島民や地元事業者と協力し、事業を推進していく。																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	1,443,800	1,080,767			269,196	811,571															

予算科目	2 款	総務費	事業名	離島航路駐車場整備事業		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち	
	8 目	離島振興費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進	
	事業	離島振興対策費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する	
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P21		
目的及び事業内容	田代島及び網地島の島民や観光客等の離島航路利用者の更なる利用拡大と利便性向上のため、門脇地区における離島航路駐車場を整備する。					
取組実績	<p>予定どおり令和4年度内に事業が完了した。</p> <p>【令和4年度施工した工事】</p> <p>(1) 離島航路駐車場整備工事（その3） 期 間：令和4年3月1日から令和4年8月25日まで 請負額：17,356,900円 内 容：駐車場周辺の盛土工事 ほか 進 捗：令和4年8月25日完了（R3→R4繰越）</p> <p>(2) 離島航路駐車場整備工事（その4） 期 間：令和4年7月22日から令和5年3月28日まで 請負額：74,206,000円 内 容：駐車スペースの転圧・舗装工事 ほか 進 捗：令和5年3月28日完了（R4現年）</p>					
成 果	離島航路駐車場整備工事の完了により、離島航路利用客の利便性向上が図られた。 ※駐車可能台数130台を確保（舗装箇所部分）					
成果に係る評価	適正な管理に努め、離島航路利用者の利便性向上を図っていく。					
予算の執行状況	(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	83,815,120	82,562,900		78,300,000		4,262,900

予算科目	2 款	総務費	事業名	離島航路維持事業																																						
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																					
	8 目	離島振興費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																					
	事業	離島振興対策費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																					
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P21																																						
目的及び事業内容		田代島・網地島と本土を結ぶ航路は島民の交通手段、生活物資の輸送手段として、重要な生活基盤であるとともに、近年は離島を訪れる観光客が増加していることから、安定的な運航維持のため、航路事業者者に支援を行うとともに島民を対象とした運賃割引実施に対する補助を行う。																																								
取組実績		<p>1 離島航路維持費補助金の交付 航路事業者の安定的な運航経営を実現するため、国、県と協議しながら、航路維持費の欠損分に対して補助金を交付した。</p> <p style="text-align: center;">【補助金交付実績】 (単位：円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">欠損額</th> <th rowspan="2">国補助金</th> <th colspan="3">市補助金</th> </tr> <tr> <th>県補助金</th> <th>一般財源</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>249,375,648</td> <td>127,428,651</td> <td>121,946,997</td> <td>40,851,020</td> <td>81,095,977</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>245,454,987</td> <td>131,651,730</td> <td>113,803,257</td> <td>40,826,724</td> <td>72,976,533</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>257,424,899</td> <td>139,562,537</td> <td>117,862,362</td> <td>40,821,364</td> <td>77,040,998</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 離島航路経営安定化補助金の交付 夜間の救急患者搬送に備えた、田代島への船舶及び船員の待機に要する費用のほか、離島住民運賃割引に係る減収分に対して補助金を交付した。</p> <p style="text-align: center;">【補助金交付実績】 (単位：円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市補助金 (一般財源)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>4,504,890</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,481,140</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4,353,890</td> </tr> </tbody> </table>						年度	欠損額	国補助金	市補助金			県補助金	一般財源		R2	249,375,648	127,428,651	121,946,997	40,851,020	81,095,977	R3	245,454,987	131,651,730	113,803,257	40,826,724	72,976,533	R4	257,424,899	139,562,537	117,862,362	40,821,364	77,040,998	年度	市補助金 (一般財源)	R2	4,504,890	R3	4,481,140	R4	4,353,890
年度	欠損額	国補助金	市補助金																																							
			県補助金	一般財源																																						
R2	249,375,648	127,428,651	121,946,997	40,851,020	81,095,977																																					
R3	245,454,987	131,651,730	113,803,257	40,826,724	72,976,533																																					
R4	257,424,899	139,562,537	117,862,362	40,821,364	77,040,998																																					
年度	市補助金 (一般財源)																																									
R2	4,504,890																																									
R3	4,481,140																																									
R4	4,353,890																																									
成果		<p>離島航路利用者については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は約64,000人、令和3年度は約57,000人と減少していたが、令和4年度は約67,000人と回復傾向にある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離島航路利用者数</td> <td>94,310人</td> <td>104,281人</td> <td>64,188人</td> <td>57,240人</td> <td>67,030人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H30	R1	R2	R3	R4	離島航路利用者数	94,310人	104,281人	64,188人	57,240人	67,030人																							
年度	H30	R1	R2	R3	R4																																					
離島航路利用者数	94,310人	104,281人	64,188人	57,240人	67,030人																																					
成果に係る評価		<p>航路事業者に対する航路維持費の欠損分に対する補助や、夜間救急患者搬送に備えた補助などを継続的に実施することにより、島民が安心・安全に生活できる環境を維持することができている。 また、国・県・市及び事業者で組織する「石巻～長渡航路確保維持協議会」で本航路運営に係る課題についての情報共有を行い、今後の利用者増加に向けた対策等について、連携して取り組んでいく。 令和4年度からは利用者数の増加も見られることから、今後は更なる離島航路利用者の増加、利便性の向上を図りながら、引き続き離島航路の安定的な維持に努めていく。</p>																																								
予算の執行状況		(単位：円)																																								
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
134,859,000	122,216,252	40,821,364			81,394,888																																					

予算科目	2 款	総務費	事業名	路線バス運行維持対策補助事業																																																								
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																							
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																																							
	事業	地域交通対策関係費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																																							
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P20																																																								
目的及び事業内容		株式会社ミヤコーバスが運行する広域路線バス(複数の市町(旧町含む)にまたがる路線)及び市単独路線バス(旧市内のみ運行する路線)の運行費を一部補助することで、持続可能な路線バスの運行を支援する。																																																										
取組実績		<p>地域の実情に応じた交通手段を確保、維持するため、運行业者に対し運行費補助を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">路線名</th> <th>運行経路(系統)</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">広域バス路線</td> <td>石巻免許センター線</td> <td>石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院</td> <td>9,023,111円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>石巻駅前～傘松～河南総合支所</td> <td>9,483,338円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～飯野川</td> <td>8,461,194円</td> </tr> <tr> <td>河北線</td> <td>石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川</td> <td>15,723,870円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鮎川線</td> <td>石巻駅前～筒場～鮎川港</td> <td rowspan="3">21,103,803円</td> </tr> <tr> <td>石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港</td> </tr> <tr> <td>イオン石巻東店～荻浜～鮎川港</td> </tr> <tr> <td>女川線</td> <td>石巻駅前～筒場～女川運動公園前</td> <td>4,631,548円</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">市単独路線</td> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館</td> <td>4,121,000円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅</td> <td>8,374,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">山下門脇線</td> <td>石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前</td> <td>1,227,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前</td> <td>2,418,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻日赤線</td> <td>石巻駅前～蛇田～日赤病院(石巻)</td> <td>2,476,000円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻線</td> <td>石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店</td> <td>4,679,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻渡波線</td> <td>石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店</td> <td>13,719,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店</td> <td>4,637,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td></td> <td>110,077,864円</td> </tr> </tbody> </table>						路線名		運行経路(系統)	補助金額	広域バス路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	9,023,111円	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	9,483,338円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	8,461,194円	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	15,723,870円	鮎川線	石巻駅前～筒場～鮎川港	21,103,803円	石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港	イオン石巻東店～荻浜～鮎川港	女川線	石巻駅前～筒場～女川運動公園前	4,631,548円	市単独路線	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	4,121,000円	中里線	石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	8,374,000円	山下門脇線	石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前	1,227,000円	石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前	2,418,000円	石巻日赤線	石巻駅前～蛇田～日赤病院(石巻)	2,476,000円	鹿妻線	石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	4,679,000円	石巻渡波線	石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店	13,719,000円		石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	4,637,000円		合計		110,077,864円
路線名		運行経路(系統)	補助金額																																																									
広域バス路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	9,023,111円																																																									
	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	9,483,338円																																																									
	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	8,461,194円																																																									
	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	15,723,870円																																																									
	鮎川線	石巻駅前～筒場～鮎川港	21,103,803円																																																									
		石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港																																																										
		イオン石巻東店～荻浜～鮎川港																																																										
	女川線	石巻駅前～筒場～女川運動公園前	4,631,548円																																																									
	市単独路線	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	4,121,000円																																																								
		中里線	石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	8,374,000円																																																								
山下門脇線		石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前	1,227,000円																																																									
		石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前	2,418,000円																																																									
石巻日赤線		石巻駅前～蛇田～日赤病院(石巻)	2,476,000円																																																									
鹿妻線		石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	4,679,000円																																																									
石巻渡波線		石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店	13,719,000円																																																									
	石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	4,637,000円																																																										
	合計		110,077,864円																																																									
成果		<p>広域バス路線については、国庫補助の対象となる1日当たりの輸送量が15人以上の路線は2路線2系統(広域バス路線の石巻免許センター線と石巻専修大学線)となっており、昨年度と比較して1路線増加したが、今後も継続して利用率向上に向けて取り組んでいく。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域バス路線・系統数</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> <tr> <td>うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数</td> <td>1路線1系統</td> <td>1路線1系統</td> <td>2路線2系統</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R2	R3	R4	広域バス路線・系統数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統	うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数	1路線1系統	1路線1系統	2路線2系統																																									
年度	R2	R3	R4																																																									
広域バス路線・系統数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																									
うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数	1路線1系統	1路線1系統	2路線2系統																																																									
成果に係る評価		<p>バス運行に係る国庫補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した全路線を対象とする緩和措置が令和6年度で終了することにより、今後は市負担額の増加が見込まれていることから、新たな財源確保に努めていく。 また、石巻市総合交通計画策定に当たって実施した各種調査において、運行情報などの情報取得手段の不足や、経路によっての運賃変動などが課題として挙げられていたことから、まずは、運行情報のオープンデータ化を実施した。引き続き、均一制運賃等導入の検討など各課題の改善に取り組み、利用者数の増加を図っていく。</p>																																																										
予算の執行状況		(単位：円)																																																										
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
151,956,000	110,077,864			49,785,258	60,292,606																																																							

予算科目	2 款	総務費	事業名	住民バス運行費補助事業																																																												
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																											
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																																											
	事業	地域交通対策関係費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																																											
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P20																																																												
目的及び事業内容	地域公共交通は、少子高齢化の進行等に伴い、利用者が減少している現状であることから、地域住民で組織する運行協議会が運行する住民バス等の運行費に対し補助を行い、日常生活に必要不可欠な地域公共交通を維持する。																																																															
取組実績	地域の実情に最適な交通手段の確保を目指し、運行ルートの変更や停留所の見直し等を実施しながら住民バスを運行した事業主体に対し、補助金を交付した。 令和4年度運行協議会別補助金の状況																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>運行主体</th> <th>運行形態</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>荻浜地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>5,031,688円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>8,035,538円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド</td> <td>3,583,545円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>デマンド</td> <td>3,716,418円</td> </tr> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>6,646,556円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線 デマンド</td> <td>21,163,506円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド</td> <td>7,102,744円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>11,860,682円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>17,647,703円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>84,788,380円</td> </tr> </tbody> </table>						名 称	運行主体	運行形態	補助金額	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	5,031,688円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	8,035,538円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3,583,545円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド	3,716,418円	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	6,646,556円	雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	21,163,506円	河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	7,102,744円	桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,860,682円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	17,647,703円	合計			84,788,380円														
	名 称	運行主体	運行形態	補助金額																																																												
	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	5,031,688円																																																												
	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	8,035,538円																																																												
	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3,583,545円																																																												
	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド	3,716,418円																																																												
	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	6,646,556円																																																												
	雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	21,163,506円																																																												
	河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	7,102,744円																																																												
桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,860,682円																																																													
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	17,647,703円																																																													
合計			84,788,380円																																																													
住民バス及び乗合タクシーの運行費に対する補助を行ったことで、地域住民の移動手段を確保した。また、雄勝、北上、河北地区は実情に応じて運行ルート変更など、利用者の利便性向上を図った。																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>856人</td> <td>284便</td> <td>646人</td> <td>294便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>5,480人</td> <td>3,387便</td> <td>5,611人</td> <td>3,390便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>4,180人</td> <td>2,969便</td> <td>4,600人</td> <td>3,212便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>5,302人</td> <td>3,494便</td> <td>5,487人</td> <td>3,673便</td> </tr> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>2,347人</td> <td>1,370便</td> <td>2,577人</td> <td>1,472便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>10,453人</td> <td>4,122便</td> <td>8,802人</td> <td>4,031便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>3,974人</td> <td>2,809便</td> <td>3,654人</td> <td>2,639便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>2,810人</td> <td>2,324便</td> <td>2,892人</td> <td>2,326便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>2,893人</td> <td>1,446便</td> <td>4,441人</td> <td>1,928便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38,295人</td> <td>22,205便</td> <td>38,710人</td> <td>22,965便</td> </tr> </tbody> </table>						名 称	R3		R4		利用者数	便数	利用者数	便数	荻浜地区住民バス	856人	284便	646人	294便	稲井地域乗合タクシー	5,480人	3,387便	5,611人	3,390便	山の手地区乗合タクシー	4,180人	2,969便	4,600人	3,212便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,302人	3,494便	5,487人	3,673便	河北地区住民バス	2,347人	1,370便	2,577人	1,472便	雄勝地区住民バス	10,453人	4,122便	8,802人	4,031便	河南地区乗合タクシー	3,974人	2,809便	3,654人	2,639便	桃生地区住民バス	2,810人	2,324便	2,892人	2,326便	北上地区住民バス	2,893人	1,446便	4,441人	1,928便	合計	38,295人	22,205便	38,710人	22,965便
名 称	R3		R4																																																													
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																												
荻浜地区住民バス	856人	284便	646人	294便																																																												
稲井地域乗合タクシー	5,480人	3,387便	5,611人	3,390便																																																												
山の手地区乗合タクシー	4,180人	2,969便	4,600人	3,212便																																																												
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,302人	3,494便	5,487人	3,673便																																																												
河北地区住民バス	2,347人	1,370便	2,577人	1,472便																																																												
雄勝地区住民バス	10,453人	4,122便	8,802人	4,031便																																																												
河南地区乗合タクシー	3,974人	2,809便	3,654人	2,639便																																																												
桃生地区住民バス	2,810人	2,324便	2,892人	2,326便																																																												
北上地区住民バス	2,893人	1,446便	4,441人	1,928便																																																												
合計	38,295人	22,205便	38,710人	22,965便																																																												
成果に係る評価	住民バス・乗合タクシーの利用者数については、地域の人口は減少しているものの全体的には増加傾向であり、通院・買物等の移動手段として活用され、地域の足としての役割を果たしている。 なお、石巻市総合交通計画に基づき、路線再編や運行情報のオープンデータ化等を実施し、利便性の向上を図るとともに、デマンド運行やワンコインタクシー導入の検討に着手するなど課題改善に取り組み、運行経費の削減及び利用者数の増加に努めていく。																																																															
(単位：円)																																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																										
	84,789,000	84,788,380	1,974,000		40,000,000	42,814,380																																																										

予算科目	2 款	総務費	事業名	牡鹿地区市民バス運行事業																						
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																					
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																					
	事業	牡鹿地区市民バス運行事業費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																					
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P21																						
目的及び事業内容	移動手段を持たない牡鹿地区住民が通院や買物等の日常生活における移動手段を確保するため、交通事業者がいない同地区に、市が運行主体となり、交通弱者等の地区内移動手段を確保する。																									
取組実績	地域の実情に最適な交通手段の確保を目指し、市民バスの運行を行った。 また、近年、車両の老朽化により修繕費が増加していたことから、1台を更新したほか、運行情報を「標準的なバス情報フォーマット」形式(G T F S - J P)のデータで作成の上、オープンデータとして公開した。																									
	運行概要																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="3">運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>平日 11便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>(日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>平日 7便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>(日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>泊～大原線</td> <td>平日 1便/日</td> <td>(土・日・祝日・年末年始は原則運休)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td colspan="3">5便/日(年末年始は原則運休)</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	運行状況			寄磯～鮎川線	平日 11便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～大原線	平日 1便/日	(土・日・祝日・年末年始は原則運休)		網地島線	5便/日(年末年始は原則運休)		
	路線名	運行状況																								
	寄磯～鮎川線	平日 11便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)																						
	泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)																						
	泊～大原線	平日 1便/日	(土・日・祝日・年末年始は原則運休)																							
	網地島線	5便/日(年末年始は原則運休)																								
	市が主体となって市民バスを運行することで、地域住民の移動手段を確保した。当該市民バスは、小学校までのスクールバスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。 また、オープンデータ化により、グーグルマップにも反映されたことで、誰でも簡単に経路・運賃・運行ダイヤを確認することが可能となった。																									
	市民バス運行実績																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>9,848人</td> <td>9,963人</td> <td>8,710人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>8,481人</td> <td>7,148人</td> <td>6,087人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>18,329人</td> <td>17,111人</td> <td>14,797人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>7,611便</td> <td>7,639便</td> <td>7,599便</td> </tr> </tbody> </table>							R2	R3	R4	一般利用	9,848人	9,963人	8,710人	教育目的利用	8,481人	7,148人	6,087人	利用者数合計	18,329人	17,111人	14,797人	運行便数	7,611便	7,639便	7,599便	
	R2	R3	R4																							
一般利用	9,848人	9,963人	8,710人																							
教育目的利用	8,481人	7,148人	6,087人																							
利用者数合計	18,329人	17,111人	14,797人																							
運行便数	7,611便	7,639便	7,599便																							
教育目的利用区間																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>利用区間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>寄磯～小淵(上り3便、下り3便)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	利用区間	寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り3便、下り3便)	泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)															
路線名	利用区間																									
寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り3便、下り3便)																									
泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)																									
成果に係る評価	石巻市総合交通計画に基づき、令和4年度は牡鹿地区のオープンデータ化に取り組んだ。また、令和5年度は重点地区として見直しを行うことで、効率的かつ地元ニーズに則した運行の実現に努め、経費の削減及び利用者数の増加に努めていく。																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	36,795,850	36,045,972	82,000		17,367,200	18,596,772																				

予算科目	2 款	総務費	事業名	住民・市民バス路線再編等事業														
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち													
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進													
	事業	地域交通対策関係費		(1)	持続可能な公共交通体系を構築する													
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 20														
目的及び事業内容	令和3年度に策定した石巻市総合交通計画に基づき、各地区の住民バス（乗合タクシー含む。）及び市民バスと路線バスの接続性、運行形態、ダイヤ、運賃体制などを総合的に見直し、再編することで公共交通の更なる利便性の向上を図る。																	
取組実績	<p>当初見直しを予定していた河北地区、北上地区及び雄勝地区に加え、桃生地区も前倒しで見直しを図ったほか、その他公共交通利用促進事業についても下記のとおり実施した。</p> <p>1 総合的な見直しを行った路線 (1) 河北地区住民バス (2) 雄勝地区住民バス (3) 北上地区住民バス (4) 桃生地区住民バス</p> <p>2 公共交通利用促進事業 (1) 公共交通チャレンジデーの実施 (2) 公共交通の案内や誘導サイン等に係る意見交換会の実施 (3) 住民バス等の運行情報のオープンデータ化</p>																	
成果	<p>上記事業の実施により、バスの効率的な運行に向けた検討が進められたほか、公共交通に対する市民意識の改善が図られた。 また、オープンデータ化により、市民や来訪者等が公共交通の経路検索などが可能となった。</p> <p>1 総合的な見直しを行った路線数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>3路線</td> <td>4路線</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 公共交通利用促進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>						区分	目標値	実績等	R4	3路線	4路線	区分	目標値	実績等	R4	2件	3件
区分	目標値	実績等																
R4	3路線	4路線																
区分	目標値	実績等																
R4	2件	3件																
成果に係る評価	総合交通計画に位置付けられている施策については、予定どおり実施できているが、引き続き、専門家の意見等を取り入れながら、交通事業者や関係機関と密に連携し、より選ばれる公共交通を目指して事業を推進していく。																	
予算の執行状況	(単位：円)																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	5,000,000	4,994,000				4,994,000												

予算科目	2 款	総務費	事業名	子育てしやすい職場環境整備推進事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち		
	10 目	男女共同参画推進費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実		
	事業	男女共同参画推進費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する		
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 42			
目的及び事業内容	社会全体で仕事・家事・育児等の両立を尊重する意識の醸成を目指すため、管理職層のほか、従業員をまとめる立場にあるリーダー層を対象に、子育て参加に対する理解促進講座と、ワーク・ライフ・バランス実現のための仕事の効率化を図るためのスキル習得研修を実施する。						
取組実績	<p>男性の育児を含むワーク・ライフ・バランスの実現に向けた社会全体の理解促進のためには、当人のスキルアップだけではなく、職場の管理職をはじめとする上司の、部下や同僚に対する理解を深める必要があることから、市内事業所の管理職層や市職員(新規ポスト課長補佐)を対象にイクボス研修を実施した。</p> <p>また、女性活躍に資する就業環境(出産や子育てに配慮した勤務体系、ワーク・ライフ・バランス推進など)の整備に対する意識醸成を図るため、市内事業所の管理職層、人事、経理担当者等を対象として、女性活躍推進セミナーを開催した。</p> <p>1 イクボス研修 (1) テーマ：「イクボスのススメ～部下や自身も輝く職場づくり～」 (2) 対 象：市内事業所の管理職層及び市職員(新規ポスト課長補佐) (3) 受講者：市内事業所の管理職層 16名 市職員(新規ポスト課長補佐) 12名 計 28名</p> <p>2 女性活躍推進セミナー (1) テーマ：「かがやけ、女性のチカラ」 (2) 対 象：市内事業所の管理職層、人事、経理担当者等 (3) 受講者：9名</p>						
成果	<p>研修を通して、男性の家事・育児に関する理解促進や、働き方に対する男女の意識改革、ワーク・ライフ・バランスを実現できる組織環境の整備促進に向けた意識醸成が図られた。 また、女性活躍推進を図る上での課題や、女性が子育てをしながら働き続けられる職場環境の事例紹介等により、職場だけでなく、社会全体での意識改革を図ることができた。</p>						
成果に係る評価	<p>女性活躍推進セミナーでは、女性の活躍推進に関する意識が向上したという意見を多くいただき、就業環境の整備に対する意識醸成を図ることができた。 また、イクボス研修の事後アンケートでは、研修で学んだことを周囲の人に勧めたいという多くの回答とともに、職場での育児支援制度の利用を部下に積極的に進めたいとの回答を受講者全員からいただくことができた。 今後も庁内及び市内事業所において、子育てしやすい職場環境の整備促進に向け、更なる意識啓発を図っていく。</p>						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	250,000	250,000	250,000				

予算科目	2 款	総務費	事業名	男女共同参画推進事業																																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進																																
	事業	男女共同参画推進費		(1)	政策・方針決定の場への女性の参画を推進する																																
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 19																																	
目的及び事業内容		すべての個人が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受し、かつ共に責任を担うべき社会を目指す「男女共同参画社会」の実現を図るため、女性人材育成事業、女性活躍推進事業、子育て参加促進事業及び啓発事業(男女共創セミナー、男女共同参画基本計画進行管理等)を実施する。																																			
取組実績		<p>1 石巻市男女共同参画基本計画(第4次:令和3年度~令和7年度)の進捗管理</p> <p>(1) 令和3年度の事業実施状況を把握・検証</p> <p>(2) 石巻市男女共同参画推進審議会へ諮問し、「妥当」との答申を得た。</p> <p>2 石巻市男女共同参画基本計画(第4次)に基づいて、各種男女共同参画推進事業を実施</p> <p>※主な事業のみ掲載</p> <p>(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進 「女性人材リストの管理、登録者募集、活用促進」</p> <p>(2) 女性の人材育成 「女性人材育成セミナー」</p> <p>(3) 男女共同参画の視点からの意識啓発 「男女共創セミナー」「男女共同参画週間の広報、啓発事業」「高校生のための性教育講話」</p> <p>(4) 関係団体の男女共同参画推進事業に対する後援</p> <p>(5) 市報、市ホームページ、市SNS、資料配布等を通しての意識啓発</p>																																			
成果		<p>石巻市男女共同参画基本計画(第4次)に基づく各種施策の実施により、男女共同参画社会の形成の促進や意識啓発が図られた。</p> <p>成果指標については、市の審議会・委員会等への女性委員の登用率の目標値は40%であるが、令和4年度実績は27.8%だった。女性人材リストについては、実態調査とともにリスト内容の見直しを依頼し、更新を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="3">1 審議会等の女性委員の登用率</td> <td colspan="3">2 女性人材リストにおける審議会等へ登用された委員の割合</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>40.0%</td> <td>26.3%</td> <td>R2</td> <td>25.0%</td> <td>16.4%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>40.0%</td> <td>28.0%</td> <td>R3</td> <td>25.0%</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>40.0%</td> <td>27.8%</td> <td>R4</td> <td>25.0%</td> <td>26.8%</td> </tr> </table>						1 審議会等の女性委員の登用率			2 女性人材リストにおける審議会等へ登用された委員の割合			区分	目標値	実績等	区分	目標値	実績等	R2	40.0%	26.3%	R2	25.0%	16.4%	R3	40.0%	28.0%	R3	25.0%	22.6%	R4	40.0%	27.8%	R4	25.0%	26.8%
1 審議会等の女性委員の登用率			2 女性人材リストにおける審議会等へ登用された委員の割合																																		
区分	目標値	実績等	区分	目標値	実績等																																
R2	40.0%	26.3%	R2	25.0%	16.4%																																
R3	40.0%	28.0%	R3	25.0%	22.6%																																
R4	40.0%	27.8%	R4	25.0%	26.8%																																
成果に係る評価		<p>女性人材リストにおける審議会等へ登用された委員の割合については、積極的なリスト活用の呼びかけを実施し、目標値を達成することができたが、審議会等の女性委員の登用率については、目標値には届いていないため、女性の登用を促進するよう、これまで以上に関係課へ働きかけていく。</p> <p>男女共同参画社会の実現のためには、性別や年代等関係なく様々な立場の人々の意識醸成が必要ことから、今後も関係課や女性活躍推進会議と連携しながら、啓発セミナーや情報周知等に努め、有効な施策を実施していく。</p>																																			
(単位:円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	985,000	943,372	644,000		299,372																																

予算科目	2 款	総務費	事業名	親になるための教育事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進		
	事業	男女共同参画推進費		(2)	社会のあらゆる分野における意識啓発を図る		
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 19			
目的及び事業内容		中学生を対象に父親・母親の疑似体験をすることにより、妊産婦への思いやりを育み、命の大切さや子供を産み育てることの意義について理解を促し、社会全体で出産や育児を支える環境づくりを目指す。					
取組実績		<p>一般社団法人宮城県助産師会による講義や体験を実施したほか、本年度から事業実施後の生徒に対するアンケートに加え、事業実施前にもアンケートを実施し、子育て等に関する意識が講義及び体験によりどのように変化するのかを確認した。ほとんどの生徒が真剣に講義を受け、未来に向けて自らの生涯設計を意識させる貴重な時間となった。</p> <p>1 親になるための教育事業</p> <p>(1) 対象:実施を希望した市内中学校 9校</p> <p>(2) 受講者:中学生 655名</p> <p>(3) 講師:一般社団法人宮城県助産師会</p> <p>(4) 内容:【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女の体の違いや妊娠のしくみ ・思春期のこころ ・性感染症、男女交際のあり方について ・多様性に対する啓発(性的マイノリティを含む) <p>【体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦ジャケット着用体験 ・赤ちゃん人形抱っこ体験 					
成果		<p>講義や体験を通し、自らの体に対する認識を深めると同時に命の尊さ、子育てに温かい社会づくりの機運醸成を図ることができた。また、今後のライフデザインについて、生徒自身が考えるきっかけとなったことで、思春期の生徒達に将来を思い描く上で必要となる情報や、親、友人、異性に対する接し方等、健全な心を育成することができた。</p>					
成果に係る評価		<p>事業実施後のアンケートでは「事業実施前と比べて、子育てに対する意識が高まりましたか」の問いに対し、高まった、やや高まったとの意見が約91%となり、生徒の子育てに対する理解を高めることができた。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた乳幼児とのふれあい体験も再開させることにより、育児の難しさや親子のコミュニケーションを目の前で見ることで、家族の役割や子育てに対する理解促進を図っていく。</p>					
(単位:円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,203,000	1,202,370	1,202,000		370		

予算科目	2 款 総務費		事業名 国際姉妹都市・友好都市交流推進事業			
	1 項 総務管理費		総合計画	第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	11 目 国際交流費			第 1 節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業 国際交流推進費			(3) 友好都市等との交流を推進する		
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P 12		
目的及び事業内容	<p>【イタリア・チビタベッキア市】 両市への理解と交流を深めるとともに、両市を繋いだ先人の偉業と歴史を後世に継承する。両市の将来を担う可能性豊かな子どもたちに異文化経験をjする機会を与え、国際感覚を持った人材の育成を図る。</p> <p>【中国・温州市】 両市への理解と交流を深めるとともに、議定書に基づき友好親善関係の促進を図り、両市の活性化を目指す。</p>					
取組実績	<p>【イタリア・チビタベッキア市との交流事業】 高校生海外研修事業（派遣） ※新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</p> <p>【中国・温州市との交流事業】 (1) 温州市政府・教育局・英才学校とのオンライン会議 実施日：令和4年11月28日 会場：市防災センター 内 容：両市の友好都市事業担当、教育担当、桜坂高等学校校長及び英才学校副校長が参加し、今後の青少年間の交流について意見交換を行い、桜坂高等学校と英才学校のオンライン交流を実施することとした。</p> <p>(2) 石巻市立桜坂高等学校と温州市英才学校とのオンライン交流 実施日：令和5年2月16日 会場：石巻市立桜坂高等学校 大講義室 内 容：桜坂高等学校2年3組の生徒と英才学校で日本語を学ぶ3年生が、日本語による交流を実施し、互いのまちや学校の紹介を行ったほか、食べ物や流行しているものなど、高校生らしい自由な意見交換が行われた。</p>					
成 果	<p>【イタリア・チビタベッキア市】 新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での交流事業は中止することとし、オンラインによる交流を検討していたが、チビタベッキア市との調整がつかず、実施には至らなかった。</p> <p>【中国・温州市】 対面での交流は実施できなかったものの、オンラインによる交流を実施し、両市教育関係者及び石巻市立桜坂高等学校と温州市英才学校との事前協議のほか、両市の高校生間での交流を行い、新たな交流方法を見出す機会となった。 オンライン交流に参加した学生の様子から、国際感覚が豊かな人材の育成のためには、青少年間の交流が有効であると認識できた。</p>					
成果に係る評価	<p>【イタリア・チビタベッキア市】 チビタベッキア市との交流については、新型コロナウイルス感染症の影響により、両市の高校生による海外研修事業の中止が続いているため、今後の交流のあり方について、改めて協議が必要である。</p> <p>【中国・温州市】 両市のこれからの担う若い世代の相互理解を深めることができたことから、オンラインを活用した交流を継続していきたい。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,000	2,900			2,900	

予算科目	2 款 総務費		事業名 諸外国との国際交流推進事業			
	1 項 総務管理費		総合計画	第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	11 目 国際交流費			第 1 節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業 国際交流推進費			(3) 友好都市等との交流を推進する		
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P 13		
目的及び事業内容	<p>これまで友好関係を築いてきたチュニジアをはじめ、本市との交流を希望する諸外国からの訪問者を受入れ、異なる人種や文化に触れることにより、各国への理解を深めるとともに、国際感覚豊かな人材の育成を図る。</p>					
取組実績	<p>1 チュニジア・モナスティール市長とのオンライン会議 両市の市長及び両国の特命全権大使によるオンライン会議を実施し、両市の紹介や意見交換を行った。 実施日：令和4年9月29日 場所：市防災センター</p> <p>2 駐チュニジア日本特命全権大使の来石対応 チュニジア共和国に駐在する日本特命全権大使が、本市の復興状況の視察及びチュニジアとの交流のきっかけとなった桃生地区を訪問 実施日：令和5年2月8日～9日 来訪者：駐チュニジア日本特命全権大使 大菅岳史 氏 内容：市長表敬、市内視察、桃生中学校での講演等</p> <p>3 東日本大震災石巻市追悼式に係る駐日本チュニジア特命全権大使の来石対応 追悼式へ出席、市長との懇談 実施日：令和5年3月11日 来訪者：駐日本チュニジア特命全権大使及び一等書記官</p>					
成 果	<p>チュニジア・モナスティール市長のオンラインによる対談では、姉妹都市締結にとられることなく、お互いのできる交流を続けていくことを確認した。 また、駐チュニジア日本特命全権大使来訪時には、桃生中学校で全校生徒を対象とした講話を通じて、生徒たちは自分たちが住むまちについて、また自分たちができる国際貢献について真剣に考えたほか、講話後の意見交換では自ら大使へ質問するなど積極的に交流に参加していた。若い世代の見聞を広め、外国への関心を抱く機会を創出することができた。</p>					
成果に係る評価	<p>チュニジアとの交流については、桃生地区をはじめ多くの市民に認知されている事業である。これまで文化・スポーツなど様々な交流を実施しており、今後も国際感覚豊かな人材の育成を図っていく。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	195,000	124,603			124,603	

予算科目	2 款	総務費	事業名	外国人相談窓口開設事業																																								
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																							
	11 目	国際交流費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																																							
	事業	国際交流推進費		(2)	国際社会に対応する安心な定住環境を整備する																																							
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 15																																								
目的及び事業内容	<p>本市に暮らす外国人が安心して生活できるよう、また地域住民の一員として日本人住民と共生できるよう支援することを目的とし、市内在住の外国人住民を対象に、外国人相談窓口を平日9時から17時まで開設する。外国人相談員のほか、多言語映像通訳アプリ「みえる通訳」導入により、13言語で対応している。</p> <p>本窓口では、庁舎内での各種手続きに係る通訳補助のほか、市政情報の提供、市民生活全般にわたる相談に対応するとともに、専門的な関係機関の紹介等を行う。</p>																																											
取組実績	<p>1 開設状況 (1) 水曜日：中国語(中国人通訳) (2) 木曜日：ベトナム語・英語(ベトナム人通訳) (3) 月～金曜日：日本語・英語・中国語・韓国語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語・ロシア語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・フランス語・ヒンディー語・スペイン語(多言語映像通訳アプリ)</p> <p>2 開設場所 復興企画部地域振興課内</p> <p>3 相談内容 (1) 行政手続きに係る通訳及び補助 (2) 生活全般に係る相談 (3) その他の相談(雇用問題、結婚、離婚及びDVに関する相談など)</p> <p>4 国別相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国名</th> <th>ベトナム</th> <th>フィリピン</th> <th>ミャンマー</th> <th>イラン</th> <th>ネパール</th> <th>その他</th> <th>合計件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>48件</td> <td>23件</td> <td>9件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>17件</td> <td>107件</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 相談窓口の周知 市内商業施設3か所にある市政情報コーナーのほか、令和4年度、新たに外国人がよく訪れる商業施設等5か所に本窓口の周知ポスター等を掲示した。また、市内の日本語教室や多文化共生推進事業実施時に、本窓口の周知カードを配布した。</p>								国名	ベトナム	フィリピン	ミャンマー	イラン	ネパール	その他	合計件数	件数	48件	23件	9件	5件	5件	17件	107件																				
	国名	ベトナム	フィリピン	ミャンマー	イラン	ネパール	その他	合計件数																																				
件数	48件	23件	9件	5件	5件	17件	107件																																					
成果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により制限されていた出入国規制が緩和されたことにより、技能実習生・特定技能外国人が増加し、相談件数の増加に繋がったものと考えられる。</p> <p>また、多言語映像通訳アプリ「みえる通訳」の活用により、マイナンバーカードの申請やマイポイントの説明など、職員での対応が難しい時に、相談者の母国語による対応を実施することができた。</p> <p>【市内在住外国人の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1,242人</td> <td>1,313人</td> <td>1,358人</td> <td>1,205人</td> <td>1,375人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【外国人相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>49件</td> <td>32件</td> <td>68件</td> <td>93件</td> <td>107件</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98%</td> <td>64%</td> <td>136%</td> <td>186%</td> <td>134%</td> </tr> </tbody> </table>								年度	H30	R1	R2	R3	R4	人数	1,242人	1,313人	1,358人	1,205人	1,375人	年度	H30	R1	R2	R3	R4	目標	50件	50件	50件	50件	80件	実績	49件	32件	68件	93件	107件	達成率	98%	64%	136%	186%	134%
年度	H30	R1	R2	R3	R4																																							
人数	1,242人	1,313人	1,358人	1,205人	1,375人																																							
年度	H30	R1	R2	R3	R4																																							
目標	50件	50件	50件	50件	80件																																							
実績	49件	32件	68件	93件	107件																																							
達成率	98%	64%	136%	186%	134%																																							
成果に係る評価	<p>相談があった約半数は、技能実習生や特定技能外国人からの相談であったが、永住者や日本人配偶者からの相談も寄せられており、年々相談件数が増加している状況から、今後も本窓口の開設事業を継続していく。</p> <p>本窓口についての周知を強化し、当課のみならず関係機関と連携することで、外国人住民への丁寧かつ適切な対応に努める。</p>																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																											
予算額	902,000	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
		708,613	353,600			355,013																																						

予算科目	2 款	総務費	事業名	日本語教室等開設事業																																																				
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																			
	11 目	国際交流費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																																																			
	事業	国際交流推進費		(2)	国際社会に対応する安心な定住環境を整備する																																																			
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 15																																																				
目的及び事業内容	<p>本市に居住する外国人同士、そして外国人と日本人との相互理解を深めるための交流の場を提供するとともに外国人住民が本市で生活する上で必要な日本語、日本文化、風習等を学ぶ機会を提供し、外国人住民が安心・安全に暮らせる多文化共生社会の推進を図る。</p> <p>外国人と日本人の交流の場として、日本文化等を楽しく学ぶ「じゃばneeds(にーず)塾」を実施する。</p> <p>また、外国人を対象に日本語教室を運営している団体へ補助金を交付するほか、同団体との共催により、各種事業を実施する。</p>																																																							
取組実績	<p>1 じゃばneeds(にーず)塾の開催 【食品サンプルで「海鮮丼メロスタンド」づくり】※食品サンプルの製作作業を通して交流を行った。 開催日：令和5年3月5日 会場：石巻市総合福祉会館みなと荘 参加者：5か国41人(日本20人・ベトナム13人・フィリピン5人・中国2人・台湾1人) 【オンラインで日本語交流 in 石巻(MIA主催)】※各回テーマに基づき、日本語による交流を行った。 開催時期：令和5年1月から2月まで(全3回) 参加者：延べ50人(技能実習生 延べ42人・石巻専修大学学生 延べ8人)</p> <p>2 外国人のための日本語教室開催</p> <p>(1) 楽しい日本語教室の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室</th> <th>日時</th> <th>年間開講回数</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語教室(一般外国人対象)</td> <td>毎週月曜日</td> <td>39回</td> <td>12か国 24名</td> </tr> <tr> <td>日本語教室(技能実習生対象)</td> <td>第2・4日曜日</td> <td>25回</td> <td>5か国 23名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 研修会・交流会の開催 いちご狩り、茶道体験、クリスマス会、書き初め会及びボウリング大会などを実施</p>								教室	日時	年間開講回数	登録者数	日本語教室(一般外国人対象)	毎週月曜日	39回	12か国 24名	日本語教室(技能実習生対象)	第2・4日曜日	25回	5か国 23名																																				
	教室	日時	年間開講回数	登録者数																																																				
日本語教室(一般外国人対象)	毎週月曜日	39回	12か国 24名																																																					
日本語教室(技能実習生対象)	第2・4日曜日	25回	5か国 23名																																																					
成果	<p>じゃばneeds(にーず)塾においては、3年ぶりに対面で開催できたことに加え、オンライン開催も継続実施したことで、市街地から離れたところに住むベトナム人技能実習生も参加することができ、コロナ前の課題の解消ができた。</p> <p>また、楽しい日本語教室においては、コロナ前に比べると、まだ参加者数が少ない状況であるが、いちご狩りやクリスマス会などの交流会も再開することができ、外国人住民との相互理解を深める機会を創出することができた。</p> <p>◆日本語教室(一般外国人対象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>42人</td> <td>15か国</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>45人</td> <td>16か国</td> <td>33回</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16人</td> <td>11か国</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>24人</td> <td>10か国</td> <td>38回</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>24人</td> <td>12か国</td> <td>39回</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆日本語教室(技能実習生対象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>38人</td> <td>3か国</td> <td>23回</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40人</td> <td>4か国</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>29人</td> <td>4か国</td> <td>19回</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>28人</td> <td>6か国</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>23人</td> <td>5か国</td> <td>25回</td> </tr> </tbody> </table>								年度	参加者数	出身国数	開講回数	H30	42人	15か国	37回	R1	45人	16か国	33回	R2	16人	11か国	25回	R3	24人	10か国	38回	R4	24人	12か国	39回	年度	参加者数	出身国数	開講回数	H30	38人	3か国	23回	R1	40人	4か国	24回	R2	29人	4か国	19回	R3	28人	6か国	24回	R4	23人	5か国	25回
年度	参加者数	出身国数	開講回数																																																					
H30	42人	15か国	37回																																																					
R1	45人	16か国	33回																																																					
R2	16人	11か国	25回																																																					
R3	24人	10か国	38回																																																					
R4	24人	12か国	39回																																																					
年度	参加者数	出身国数	開講回数																																																					
H30	38人	3か国	23回																																																					
R1	40人	4か国	24回																																																					
R2	29人	4か国	19回																																																					
R3	28人	6か国	24回																																																					
R4	23人	5か国	25回																																																					
成果に係る評価	<p>じゃばneeds(にーず)塾や日本語教室は、日本語の習得だけではなく、日本文化体験や四季を感じることでできる交流イベントを通し、日本人住民と外国人住民の相互理解を深める一助となっている。</p> <p>今後においても、外国人住民が本市での生活に溶け込み地域の一人として生活できるよう、そして、日本人住民の外国人に対する認識向上の推進のため、学びの場・交流の場の提供は不可欠であり、多文化共生社会推進を図っていく。</p>																																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																																							
予算額	789,000	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
		642,399			642,399																																																			

予算科目	2 款	総務費	事業名	交通安全推進事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	14 目	交通安全対策費		第 3 節	安心して暮らすための地域防災力などの向上		
	事業	交通安全対策費		(3)	消防機能・交通安全を推進する		
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P17			
目的及び事業内容	歩行者・運転者等へ交通安全意識の高揚を図り、交通安全運動の励行や飲酒運転の根絶を目指し、交通事故の撲滅を図る。 広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるために警察機関、交通安全指導隊、交通安全母の会等の関係団体と連携し、各種行事等の開催やパトロール活動、周知活動、広報活動を推進し交通事故防止に寄与する。						
取組実績	警察機関及び交通安全推進機関と連携し、各期の交通安全運動の推進、運転者の安全運転励行の推進、交通安全意識の普及啓発活動を行った。						
	1 各種交通安全運動として下記の事業を実施した。						
	日程	事業名	事業内容				
	4月上旬	新入生児童に対する交通事故防止活動	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布				
	4/6～5/15	春の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 ※交通安全指導隊等による街頭指導は中止				
	7/21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報				
	9/21～9/30	秋の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 ※交通安全指導隊等による街頭指導は中止				
	10/1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報				
	11/30	石巻市交通安全大会	警察署・交通事故被害者からの講和				
	12/1～2/28	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報				
	12/1～12/31	年末の交通事故防止運動	交通安全指導隊等による街頭指導				
	2 飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。						
	日程	事業名	事業内容				
	4/6～4/15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報				
9/21～9/30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報					
12/16～12/28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報					
12/16	年末の飲酒運転根絶キャンペーン	市内2店舗で啓発活動					
12月下旬	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布	全戸配布による周知活動					
12/22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載					
1/22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載					
2/22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載					
3/22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載					
成果	春季及び秋季の交通安全運動など、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、交通事故防止や飲酒運転根絶、交通安全意識の高揚が図られた。また地域の実状・要望に応じ、のぼり旗や交通安全啓発看板等を設置し、12月から3月までの毎月22日には、新聞掲載による飲酒運転根絶広報など、各種広報活動を行うことにより、安全安心な交通社会への実現に寄与した。						
成果に係る評価	交通安全指導隊による各種行事での交通安全指導や学校等での交通安全教室を50回開催し、警察機関及び交通安全推進機関と緊密に連携しながら、交通安全意識の高揚が図られ、交通事故は年々減少傾向(石巻市R2: 267件、R3: 209件、R4: 186件)にある。 また、飲酒運転根絶に向けた活動をしているが、令和4年は飲酒運転事故が前年と同じく3件発生しており、交通事故防止及び飲酒運転根絶の達成に向け、啓発活動を継続して実施していく必要がある。						
(単位: 円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,300,000	3,300,000	500,000			2,800,000	

予算科目	2 款	総務費	事業名	非核平和推進人材育成事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	24 目	諸費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実		
	事業	非核平和都市推進費		(1)	学校教育の充実を図る		
担当部課	総務部総務課	実施計画掲載ページ		P90			
目的及び事業内容	市の将来を担う中学生を対象として、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶことを目的に、広島市が主催する平和記念式典への参列などを行う中学生派遣事業及び市内中学校における原爆被爆者を講師とした被爆体験者講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。						
取組実績	1 平和記念式典等への中学生派遣事業 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止した。 【参考】例年の実施内容 日時: 8月5日～7日 研修先: 広島市 対象者: 市内中学生(市内各中学校から1名) 研修内容: 平和記念式典への参列、被爆体験者講話の聴講、広島平和記念資料館の見学 等						
	2 被爆体験者講話 市内1中学校に被爆体験者を講師として招聘し、自身の被爆体験、平和への思いを講話いただいた。						
成果	令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、平和記念式典等への中学生派遣事業を中止した。						
	区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		
		成果指標: 研修参加人数		達成率等	講話参加人数		
		目標値	実績値			実施校	
	R1	9人	9人	100%	190人	万石浦中学校 全学年	
R2	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止						
R3	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止			74人	住吉中学校 2学年		
R4	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止			48人	稲井中学校 2学年		
※R2～R4は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、平和記念式典の参列者席が大幅に縮減され、参列者が制限されたもの。							
成果に係る評価	平和記念式典等への中学生派遣事業については、これまでに参加した中学生は、式典への参列や広島平和記念資料館の見学を通して、改めて平和の尊さを学び、文化祭等で、研修内容や実際に見て感じた戦争の悲惨さ、平和に対する思いなどを発表し、家族や友人等、広く市民に対して啓発活動を行っている。 被爆体験者講話については、戦争の真の恐ろしさや、平和への心からの思いに触れることのできる貴重な機会となっており、戦争や平和を自身に関係のあることとして認識し直すきっかけとなっている。 各地で戦争・紛争が続いている中で、平和の尊さを学ぶことは極めて重要であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大上の位置付けが5類に移行したことに伴い、次年度は広島への中学生派遣事業を再開し、「戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」をより多くの若い世代に継承する取組を実施する。						
(単位: 円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	178,000	46,220				46,220	

予算科目	2 款	総務費	事業名	防犯灯普及事業																																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																
	24 目	諸費		第 3 節	安心して暮らすための地域防災力などの向上																																
	事業	防犯関係費		(3)	消防機能・交通安全を推進する																																
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P 18																																	
目的及び事業内容	町内会等で維持管理を行っている防犯灯のLED化を促進するため、新規設置費、交換費及び電気料金に対して補助金を交付することにより町内会等の負担を軽減し、地域における防犯活動の推進を図る。																																				
取組実績	「石巻市防犯灯維持管理等補助金交付要綱」に基づき、町内会等が維持管理運営する防犯灯の経費に対して補助を行った。																																				
	<p>補助金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助金種別</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>6件</td> <td>540,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>16件</td> <td>2,324,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>115件</td> <td>2,427,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>137件</td> <td>5,291,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R4</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>11件</td> <td>4,731,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>14件</td> <td>1,618,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>99件</td> <td>2,090,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>124件</td> <td>8,439,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	補助金種別	交付件数	補助金額	R3	防犯灯新規設置費補助金	6件	540,000 円	防犯灯交換費補助金	16件	2,324,000 円	防犯灯電気料金補助金	115件	2,427,000 円		合計	137件	5,291,000 円	R4	防犯灯新規設置費補助金	11件	4,731,000 円	防犯灯交換費補助金	14件	1,618,000 円	防犯灯電気料金補助金	99件	2,090,000 円		合計	124件	8,439,000 円
区分	補助金種別	交付件数	補助金額																																		
R3	防犯灯新規設置費補助金	6件	540,000 円																																		
	防犯灯交換費補助金	16件	2,324,000 円																																		
	防犯灯電気料金補助金	115件	2,427,000 円																																		
	合計	137件	5,291,000 円																																		
R4	防犯灯新規設置費補助金	11件	4,731,000 円																																		
	防犯灯交換費補助金	14件	1,618,000 円																																		
	防犯灯電気料金補助金	99件	2,090,000 円																																		
	合計	124件	8,439,000 円																																		
成 果	町内会等の負担軽減と夜間における安全性の確保、犯罪防止に寄与し、地域住民の安全と安心の向上が図られた。																																				
	<p>補助金交付対象灯数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">補助金種別</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>—</td> <td>9灯</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>632灯</td> <td>65灯</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>—</td> <td>2,039灯</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R4</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>—</td> <td>24灯</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>261灯</td> <td>38灯</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>—</td> <td>1,680灯</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					区分	補助金種別	成果指標		達成率	目標値	実績等	R3	防犯灯新規設置費補助金	—	9灯	—	防犯灯交換費補助金	632灯	65灯	10%	防犯灯電気料金補助金	—	2,039灯	—	R4	防犯灯新規設置費補助金	—	24灯	—	防犯灯交換費補助金	261灯	38灯	15%	防犯灯電気料金補助金	—	1,680灯
区分	補助金種別	成果指標		達成率																																	
		目標値	実績等																																		
R3	防犯灯新規設置費補助金	—	9灯	—																																	
	防犯灯交換費補助金	632灯	65灯	10%																																	
	防犯灯電気料金補助金	—	2,039灯	—																																	
R4	防犯灯新規設置費補助金	—	24灯	—																																	
	防犯灯交換費補助金	261灯	38灯	15%																																	
	防犯灯電気料金補助金	—	1,680灯	—																																	
成果に係る評価	石巻市防犯灯維持管理等補助金交付要綱に基づき、地域における防犯活動の推進を図るため、防犯灯LED化促進対策として事業を実施した。防犯灯交換費補助金交付件数については、目標値261灯のところ実績は38灯に止まったが、達成率は15%となり、前年度より高くなっている。交換費補助金申請件数は、前年度と比較すると減少しているが、これまでの累積交換灯数の増に伴い、漸次的に申請数が減少することが原因として考えられる。今後も、町内会等で維持管理を行っている防犯灯（蛍光灯残2,263灯）について、LED化を促進するため、未申請の町内会等に対し、引き続き周知を図っていく必要がある。また、新規設置費補助金及び電気料金補助金についても、町内会等の負担軽減策として、防犯灯LED化と併せて事業を継続していく必要がある。																																				
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	10,000,000	8,439,000				8,439,000																															

予算科目	2 款	総務費	事業名	東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕																								
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																							
	24 目	諸費		第 6 節	未来につなぐ震災伝承の推進																							
	事業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費		(1)	震災伝承を推進する																							
担当部課	総務部震災伝承推進室	実施計画掲載ページ		P 22																								
目的及び事業内容	震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるため、市主催の追悼式(式典)を開催する。また、各総合支所にも献花台を設置し、一般の参列者の献花を受け付ける。																											
取組実績	石巻市慰霊碑を本会場として追悼式典を開催したほか、市内6か所に祭壇及び献花台を設置し、本会場とともに献花を受け付けた。																											
	<p>東日本大震災石巻市追悼式</p> <p>1 日時 令和5年3月11日(土) 式典：午後2時40分～ 献花：午前8時30分～午後5時</p> <p>2 場所 石巻市慰霊碑ほか市内6か所</p> <p>3 概要</p> <p>(1) 石巻市慰霊碑(石巻南浜津波復興祈念公園内)において、追悼式典を開催した。</p> <p>(2) 石巻市慰霊碑及び市内6か所の各献花場(祭壇及び献花台を設置)において、献花を受け付けた。</p> <p>(3) 復興副大臣、衆議院議員、宮城県知事及び石巻市議会議長から追悼の辞をいただいた。</p> <p>(4) 遺族代表者の献花に引き続き、市長及び来賓者の献花を行った。</p> <p>(5) 本会場では、追悼式典開催時間の前後に一般参列者の献花を受け付け、式典開催中は、本会場に別途、献花台を設け献花を受け付けた。</p> <p>(6) 各会場において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に努めた。</p>																											
成 果	昨年度に引き続き、石巻市慰霊碑を本会場として市主催の追悼式を実施することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、深く哀悼の意を捧げることができた。また、石巻南浜津波復興祈念公園内において、追悼式典を開催したことにより、本市の復興、再生、発展を遂げている姿を市内外に示すことができた。																											
	<p><献花者数></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>本会場</td> <td>石巻市慰霊碑</td> <td>1,224 人</td> </tr> <tr> <td>献花場</td> <td>河北総合センター</td> <td>92 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雄勝総合支所</td> <td>90 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>遊楽館</td> <td>111 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>桃生総合支所</td> <td>42 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北上総合支所</td> <td>116 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>牡鹿保健福祉センター</td> <td>89 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1,764 人</td> </tr> </tbody> </table>					本会場	石巻市慰霊碑	1,224 人	献花場	河北総合センター	92 人		雄勝総合支所	90 人		遊楽館	111 人		桃生総合支所	42 人		北上総合支所	116 人		牡鹿保健福祉センター	89 人		計
本会場	石巻市慰霊碑	1,224 人																										
献花場	河北総合センター	92 人																										
	雄勝総合支所	90 人																										
	遊楽館	111 人																										
	桃生総合支所	42 人																										
	北上総合支所	116 人																										
	牡鹿保健福祉センター	89 人																										
	計	1,764 人																										
成果に係る評価	東日本大震災により、3,000人を超す方々の尊い命が奪われ、未だ多数の方が行方不明となり、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すためにも市主催の追悼式の開催が必要である。																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	5,048,000	4,990,555				4,990,555																						

予 算 科 目	2 款	総務費	事業名	窓口業務民間委託事業																																													
	3 項	戸籍住民基本台帳費	総 合 計 画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																												
	1 目	戸籍住民基本台帳費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																												
	事業	窓口証明関係費		(4)	市民サービスの利便性の向上を図る																																												
担当部課	市民生活部市民課	実施計画掲載ページ		P 106																																													
目的及び事業内容		市民課窓口業務の一部を専門知識を有する民間業者に委託することにより、窓口業務の効率化及び市民サービスの向上を図る。																																															
取組実績		<p>石巻市市民課窓口業務民間委託事業</p> <p>1 委託先 ㈱NTTネクシア 東北支店</p> <p>2 委託期間 (1) R1.8.1～R4.7.31 3年間 (2) R4.8.1～R7.7.31 3年間</p> <p>3 委託料 令和4年度 53,875,360円 【内訳】 (1) R4.4.1～R4.7.31 16,475,360円 (総額：148,130,192円) (2) R4.8.1～R5.3.31 37,400,000円 (総額：168,300,000円)</p> <p>4 委託業務内容 ※電話対応業務は、R4.8.1から業務を追加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>窓口</th> <th>公用</th> <th>郵便</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>通数(件数)</th> <th>通数</th> <th>通数</th> <th>通数(件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>証明書発行業務</td> <td>43,581</td> <td>18,709</td> <td>24,013</td> <td>86,303</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録</td> <td>2,235</td> <td></td> <td></td> <td>2,235</td> </tr> <tr> <td>住基異動入力業務</td> <td>6,159</td> <td></td> <td></td> <td>6,159</td> </tr> <tr> <td>個人番号カード関係業務</td> <td>4,661</td> <td></td> <td></td> <td>4,661</td> </tr> <tr> <td>フロア案内業務</td> <td>14,967</td> <td></td> <td></td> <td>14,967</td> </tr> <tr> <td>電話対応業務</td> <td>3,703</td> <td></td> <td></td> <td>3,703</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>75,306</td> <td>18,709</td> <td>24,013</td> <td>118,028</td> </tr> </tbody> </table> <p>※個人番号カード関係業務は、個人番号カード券面記載事項変更・電子証明書更新</p>				項目	窓口	公用	郵便	合計	通数(件数)	通数	通数	通数(件数)	証明書発行業務	43,581	18,709	24,013	86,303	印鑑登録	2,235			2,235	住基異動入力業務	6,159			6,159	個人番号カード関係業務	4,661			4,661	フロア案内業務	14,967			14,967	電話対応業務	3,703			3,703	合 計	75,306	18,709	24,013	118,028
項目	窓口	公用	郵便	合計																																													
	通数(件数)	通数	通数	通数(件数)																																													
証明書発行業務	43,581	18,709	24,013	86,303																																													
印鑑登録	2,235			2,235																																													
住基異動入力業務	6,159			6,159																																													
個人番号カード関係業務	4,661			4,661																																													
フロア案内業務	14,967			14,967																																													
電話対応業務	3,703			3,703																																													
合 計	75,306	18,709	24,013	118,028																																													
成 果		<p>民間委託により人事異動時や繁忙期においても、専門知識を有する人材が常に確保されていることから、常に安定した窓口サービスを提供できた。また、令和4年8月1日から電話対応業務を新たに委託したことにより、更に質の高い市民サービスの提供及び職員の業務負担軽減が図られた。</p> <p>アンケート項目と結果 実施回数：2回（令和4年10月11日～24日）・（令和5年2月7日～20日） 調査件数：合計 300件</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①挨拶/返事</td> <td>良い・やや良い</td> <td>83.7%</td> <td>普通・やや悪い</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②わかりやすい説明</td> <td>わかりやすい</td> <td rowspan="2">85.7%</td> <td>普通</td> <td rowspan="2">14.3%</td> </tr> <tr> <td>ややわかりやすい</td> <td>ややわかりにくい</td> </tr> <tr> <td>③言葉遣い/態度</td> <td>良い・やや良い</td> <td>87.3%</td> <td>普通・やや悪い</td> <td>12.7%</td> </tr> <tr> <td>④所要時間</td> <td>10分未満・20分未満</td> <td>86.7%</td> <td>30分未満・1時間未満</td> <td>13.3%</td> </tr> <tr> <td>⑤総合満足度</td> <td>満足・やや満足</td> <td>87.7%</td> <td>普通・やや不満</td> <td>12.3%</td> </tr> </tbody> </table>				①挨拶/返事	良い・やや良い	83.7%	普通・やや悪い	16.3%	②わかりやすい説明	わかりやすい	85.7%	普通	14.3%	ややわかりやすい	ややわかりにくい	③言葉遣い/態度	良い・やや良い	87.3%	普通・やや悪い	12.7%	④所要時間	10分未満・20分未満	86.7%	30分未満・1時間未満	13.3%	⑤総合満足度	満足・やや満足	87.7%	普通・やや不満	12.3%																	
①挨拶/返事	良い・やや良い	83.7%	普通・やや悪い	16.3%																																													
②わかりやすい説明	わかりやすい	85.7%	普通	14.3%																																													
	ややわかりやすい		ややわかりにくい																																														
③言葉遣い/態度	良い・やや良い	87.3%	普通・やや悪い	12.7%																																													
④所要時間	10分未満・20分未満	86.7%	30分未満・1時間未満	13.3%																																													
⑤総合満足度	満足・やや満足	87.7%	普通・やや不満	12.3%																																													
成果に係る評価		<p>委託可能な業務を精査し、令和4年8月1日からの委託契約から電話対応業務を追加したことにより、実際に窓口業務を行う委託業者がより明確に手続きの案内ができることから、質の高い市民サービスの提供に繋がった。</p> <p>また、令和4年度には、委託事業者において窓口業務アンケートを実施し、アンケート項目において比較的高評価を得た。アンケート結果を基に事業者と連携して事務改善などに繋げていく。</p> <p>業務が増大している状況を鑑み、安定かつ継続的に市民ニーズに応じた質の高い窓口業務を提供できるよう努める。</p>																																															
(単位：円)																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	53,875,360	53,875,360				53,875,360																																											